令和５年度

シラバス

学校法人　福岡医療学院
福岡医療専門学校

歯科衛生科

教育理念

親が子に残せる唯一の財産は教育である

育成人材像

豊かな人間性をもち、多職種と連携しながら人々の健康長寿を目指した口腔健康管理を実践できる歯科衛生士を養成する。

教育課程編成・実施の方針

1. 生命科学および基本的な情報処理の理解を深め、科学的思考の基盤を形成しコミュニケーション能力を養う「基礎分野」の科目を設置する。

2. 人体の構造と機能、歯や口腔の健康と予防に係る人間と社会の仕組みを理解する能力を養う「専門基礎分野」の科目を設置する。

3. ライフステージごとに専門的な知識・技能を駆使して、口腔機能の変化を把握し歯科保健医療を提供できる能力を養う「専門分野」の科目を設置する。

科目名	生命科学								歯科衛生科
学年	1年	学期	前期	分野	基礎	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	大神 啓裕				科目担当者	大神 啓裕			
科目概要	代謝をはじめとする生命活動の多くは，化学反応によりもたらされる。この化学反応を薬剤などで制御すれば，生命活動の一部をコントロールすることができる。物質の組成・性質・物質間の概念について学び，様々な化学的変化を理解し，生命活動について新たな視点を修得し，科学的に思考できる能力を修得する。								
到達目標	1.専門基礎分野を学ぶために必要な基礎的知識を理解できる。 2.看護を学ぶ上で必要となる基礎的知識を理解できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	化学の単位と元素の周期表	量と単位，元素の周期表	講義	大神
2	原子の構造と化学結合	原子の構造，化学結合	講義	大神
3	物質の三態	物質の三態，状態の変化	講義	大神
4	気体・液体・溶液の性質	圧力と大気圧，溶液の濃度	講義	大神
5	化学反応	化学反応の基本的法則と種類	講義	大神
6	化学平衡	化学平衡と平衡定数，酸と塩基	講義	大神
7	高分子化学	高分子化合物とは，糖質（炭水化物），アミノ酸，ペプチド，タンパク質	講義	大神
8	生命体のつくりとはたらき(1)	細胞の構造	講義	大神
9	生命体のつくりとはたらき(1)	細胞の化学成分	講義	大神
10	生命体のつくりとはたらき(1)	細胞膜の輸送	講義	大神
11	遺伝情報の伝達と発現のしくみ	ＤＮＡ，遺伝情報の伝達，タンパク質の合成	講義	大神
12	細胞の増殖とからだのなりたち(1)	細胞分裂，細胞周期	講義	大神
13	細胞の増殖とからだのなりたち(2)	細胞の分化とからだのなりたち	講義	大神
14	生体維持のエネルギー(1)	生体内の化学反応	講義	大神
15	生体維持のエネルギー(2)	同化作用，異化作用	講義	大神

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	80	20	－	－	－	－	100

教科書	川合　進二郎 他　最新歯科衛生士教本　生物学　第1版　医歯薬出版　￥2,000＋税 鶴房　繁和 他　最新歯科衛生士教本　化学　第1版　医歯薬出版　￥2,000+税
教材・参考図書	適宜紹介する。
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので，理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。

科目名	コミュニケーションスキル								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	竹下　政雄				科目担当者	竹下　政雄			
科目概要	社会人として場面ごとに必要な敬語、適切な接遇などのコミュニケーションを体系的に学修する。また、将来歯科医療の現場で、歯科衛生士として患者や医療スタッフと良好な信頼関係を築くことができるコミュニケーション能力を修得する。								
到達目標	1.　人間関係を円滑にする対話（敬語、日本語）についての基礎的な知識を深める。 2.　目的と相手に応じた書き言葉（手紙、履歴書の送り状、レポート）による表現ができるようになる。 3.　効果的な対話ができる態度や能力を身につける。 4.　患者・歯科医師・歯科技工士の立場を意識したコミュニケーションが取れる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	オリエンテーション、敬語 個人情報保護法について	授業内容の概要説明、敬語の種類、敬語の誤例 個人情報保護法の重要性について学ぶ	講義	竹下
2	電話応対	電話のかけ方・受け方・電話のメモの取り方	講義	竹下
3	あいさつ、自己紹介	学外実習開始前及び終了時のあいさつの仕方 患者や歯科スタッフに自己紹介ができる 挨拶とお辞儀の練習、受付、案内、診療室での美しい立ち居振る舞いを身に着ける	講義	竹下
4	礼状（手紙・Eメール）の書き方	手紙・Eメールの基本的書式、レポート作成 実習先（歯科医師・病院）への礼状作成	講義	竹下
5	公文書の書式、作成	公文書の書式の理解、履歴書送り状の作成	講義	竹下
6	コミュニケーション力（1）	見ること・あいさつから生じる対話力 自分の話し方を見直し、聴き取りやすい話し方を身に着ける。	講義	竹下
7	コミュニケーション力（2）	聴くことから生じる対話力、対話力のまとめ クレーム対応	講義	竹下
8	レポートの作成 冠婚葬祭マナー	序文、結文、丁寧語、美化語、尊敬語 社会人として知っておきたい冠婚葬祭マナー お茶の入れ方や茶菓の出し方を学ぶ	講義	竹下

評価方法							
評価指標	定期試験	中間試験	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	適宜、プリントを配布する。
教材・参考図書	講義時に適宜紹介する。
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	事後学修は、自宅にてプリント等の該当箇所を精読する。

科目名	情報処理論								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	基礎	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	中西　代志弘				科目担当者	中西　代志弘			
科目概要	コンピュータやネットワーク機器の基本的な構成とその役割を理解する。また、高度に情報化された業務システムを安全に運用し業務に必要とされる情報の収集と分析、及び情報の活用が行えるICTリテラシーの技術を習得する。								
到達目標	１．コンピュータと関連機器、及びソフトウェアの種類と機能について理解する。 ２．ネットワークを構成する各種機器を理解し、安全な運用管理を実施するための情報セキュリティを学ぶ。 ３．歯科衛生に関する資料の収集と加工、及び効果的な情報発信の手法を習得する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	コンピュータの基本構成1	ハードウェアとオペレーティングシステム	講義	中西
2	コンピュータの基本構成2	ソフトウェアと関連機器	講義	中西
3	情報の表現と取扱い	数の表現やマルチメディア情報の取扱い	講義	中西
4	ネットワーク技術	ネットワークの構成技術と通信プロトコル	講義	中西
5	情報セキュリティ	情報システムの安全管理とネットワークセキュリティ	講義	中西
6	情報の処理と分析1	表計算ソフトの基本操作	実技	中西
7	情報の処理と分析2	表計算ソフトによるデータ処理1	実技	中西
8	情報の処理と分析3	表計算ソフトによるデータ処理2	実技	中西
9	情報の処理と分析4	表計算ソフトによるデータ分析1	実技	中西
10	情報の処理と分析5	表計算ソフトによるデータ分析2	実技	中西
11	情報の収集と活用1	プレゼンテーションソフトの基本操作	実技	中西
12	情報の収集と活用2	歯科衛生に関する資料の検索と加工	実技	中西
13	情報の収集と活用3	歯科指導のプレゼンテーション資料の作成	実技	中西
14	情報の収集と活用4	歯科指導のプレゼンテーション資料の作成	実技	中西
15	情報の収集と活用5	歯科指導のプレゼンテーションの実施	実技	中西

あ評価方法							
評価指標	定期試験	実技課題	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	50	50	－	－	－	－	100

教科書	丸森　英史　そのまま使える！パワポ歯科指導　第1版　少年写真新聞社　￥2,400＋税
教材・参考図書	授業で使用する資料やデータはネットワーク経由で配布する。
オフィスアワー	実技時に適宜確認すること。
履修上の注意点	プレゼンテーション資料の作成や実技の練習を行う為に、共同学習室と図書館のパソコンを使用することが出来ます。

科目名	基礎ゼミナール								歯科衛生科
学年	1年	学期	前期	分野	基礎	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	谷口　邦久					科目担当者	藤瀬武、谷口邦久、貴島聡子、大神啓裕、古川理恵、田頭美穂、眞武郁		
科目概要	主体的な学習者として必要な基本的スキルを身につけ、能動的学習の必要性を理解する。また、社会人としての基礎力を身につけ、歯科衛生士として必要な学習態度を修得する。								
到達目標	1. 社会人として、また歯科医療従事者として基本的な態度を理解する。 2. 歯科衛生士に必要な基礎的知識を身につけるための学習方法について理解する。 3. 情報リテラシーを理解する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	オリエンテーション	歯科衛生士として求められる基本的な資質・能力	講義	藤瀬
2	多職種協働	多職種協働における歯科衛生士の役割、 歯科診療所での1日の流れ	講義	田頭・眞武
3	ICT教材と学習方法(1)	クラスルームと情報伝達方法	講義・演習	大神
4	ICT教材と学習方法(2)	図書館利用方法と文献検索法	講義・演習	大神
5	ICT教材と学習方法(3)	学習内容の整理、活用	講義・演習	大神
6	学習方法(1)	ノートの取り方と復習法、レポート作成法	講義	谷口
7	学習方法(2)	専門基礎学力の学習法①	講義	谷口
8	学習方法(3)	専門基礎学力の学習法②	講義	谷口
9	口腔健康管理(1)	口腔衛生管理を行うために必要な基礎知識･技術を学ぶ	講義	貴島・眞武
10	口腔健康管理(2)	各種口腔衛生用具の種類と使用目的を説明できる。	講義	貴島・眞武
11	高齢者への歯科衛生実践 オーラルフレイル	加齢に伴う変化、高齢者の身体的・精神的特徴と歯科治療の基本を理解する	講義・演習	谷口
12	鍼灸基礎	東洋医学について学ぶ	講義・演習	古川
13	漢方基礎	和漢薬の考え方を知る	講義	古川
14	歯科診療における基礎的知識(1)	歯科診療室の環境整備、X線診療室の構造と設備	講義・演習	田頭・眞武
15	歯科診療における基礎的知識(1)	歯科診療室の機器、器具などの衛生環境を知る、 歯科用チェアーユニット共同動作の基本を知る	講義・演習	田頭・眞武

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)			100	－	－	－	100

教科書	歯科衛生士書き込み式学習ノート①専門基礎科目編　第3版　医歯薬出版　￥4,800
教材・参考図書	歯科衛生士書き込み式学習ノート
オフィスアワー	毎週月曜、金曜：16:00～17:30
履修上の注意点	教科書と講義ノートを必ず持参し、授業内容を把握し、講義内容をノートに取ること。

科目名	英会話								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	脇田　由依				科目担当者	脇田　由依			
科目概要	歯科医療に関係する基本的な英語を学習していく。窓口、電話での応対、主訴を聞く等の基本的なSpeaking、Listeningなどを行う。								
到達目標	英語で受付応対、歯周検査、ブラッシング指導、スケーリング、口内炎、口臭、顎関節症、抜歯後の注意、薬の説明、新型コロナ感染症関連の声掛けなど基本的な歯科英会話を実践することができる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	オリエンテーション Unit 1	初対面での挨拶、歯科診療室での挨拶 Handling Calls at Reception, Service at Reception	講義	脇田
2	Unit 2	患者さんへの声かけ Consultation,In the X-ray Room,Pulpectomy	講義	脇田
3	Unit 3	新型コロナウイルス感染症関連の声かけ Dental Extraction,At the Reception Counter, Explanations on Dental Cavities	講義	脇田
4	Unit 4	Insertion of Dental Composite,Treatment of the Infected Root Canal,Disease of the Gums	講義	脇田
5	Unit 5	Periodontal Examination, Tooth Brushing Instructions,Scaling	講義	脇田
6	Unit 6	Crown Restoration,Bridge,False Teeth	講義	脇田
7	Unit 7	Orthodontic Treatment, Dental Implant Treatment,Stomatitis,Bad Breath	講義	脇田
8	Unit 8	Temporomandibular Joint Disorders, Post-operative Care Instructions for Dental Extraction,Instruction for medicines	講義	脇田

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	土田 和範 他　歯科医院での実用英会話　第2版　医歯薬出版　￥3600＋税
教材・参考図書	適宜紹介する。英和辞典、和英辞典
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	キャリアデザイン								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	滝沢　哲也				科目担当者	滝沢　哲也、貴島　聡子、田頭　美穂、眞武 郁			
科目概要	科目では、自分の強みを知り、キャリアとは何かを理解し、キャリアをデザインすることの必要性について考える。 グループディスカッションや先輩の話を通して、様々なキャリアの在り方を知ることにより、キャリアデザインを能動的に考える機会を提供する。卒業後の仕事生活を見据えて、学生生活の過ごし方などを自ら考えて、選択し、判断して行動ができるようになることを目標とする。								
到達目標	①キャリアとは何か、キャリアデザインとは何かについて理解する。 ②日本型雇用の特徴と今後の変化について理解する。 ③実現したいキャリアデザインを踏まえて、学生生活の過ごし方を描くことができる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	概論、キャリアを考える1	キャリアとは、キャリアデザインとは何か、先輩を知る①	講義・演習	滝沢　眞武
2	キャリアを考える2	自分について何を知っているか	講義・演習	滝沢　眞武
3	キャリアを考える3	専門学校生活の「節目」は何か	講義・演習	滝沢
4	日本型雇用とキャリア1	人生の「節目」は何か	講義・演習	滝沢
5	日本型雇用とキャリア2	日本型雇用、ジョブ型雇用	講義・演習	滝沢
6	日本型雇用とキャリア3	先輩を知る③	講義・演習	滝沢　貴島
7	日本型雇用とキャリア4	履歴書・自己紹介書	講義・演習	滝沢　眞武
8	キャリアデザイン総括	キャリアデザインのまとめ	講義	滝沢

評価方法							
評価指標	課題	小テスト	演習への参加状況	－	－	－	合計
評価割合(%)	50	40	10	－	－	－	100

教科書	なし
教材・参考図書	講義毎に必要な教材を紹介・配付する。
オフィスアワー	火曜日　14：00－16：00
履修上の注意点	・演習では、小人数に分かれて意見交換、ディスカッションを行うので、積極的に参加することが望まれる。

科目名	健康行動学								歯科衛生科
学年	1年	学期	前期	分野	基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	當眞　裕樹					科目担当者	當眞　裕樹		
科目概要	健康づくりとして行われてきている生涯スポーツや、新たに創造されたニュースポーツの持つ特性を理解し実践する。さらに本講義ではアダプテッドスポーツの実践も含む。								
到達目標	集団における個人の役割や責任を全うすることの大切さを理解し、他者とのコミュニケーション技能やソーシャルスキルを高めることができる。 個に応じた全面的な体力つくりを行うとともに、生涯にわたり計画的に健康の維持増進につとめていくことができる資質や能力を養う。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	オリエンテーション	授業概要、施設使用説明および体力づくり	演習	當眞
2	ラジオ体操	ラジオ体操 1～13	実技	當眞
3	シッティングバレー	ルールの把握とグループ課題練習、予備ゲーム	実技	當眞
4	シッティングバレー	ゲーム	実技	當眞
5	ファミリーバドミントン	ルールの把握とグループ課題練習、予備ゲーム	実技	當眞
6	ファミリーバドミントン	ゲーム	実技	當眞
7	アルティメット	ルールの把握とグループ課題練習、予備ゲーム	実技	當眞
8	アルティメット	ゲーム	実技	當眞

評価方法

評価指標	定期試験	実技	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	50	50	－	－	－	－	100

教科書	オリエンテーション時に資料を配布する。
教材・参考図書	適宜紹介する。
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	実技授業のため積極的に参加・行動すること

科目名	解剖学								歯科衛生科
学年	1年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	長門　俊一				科目担当者	長門　俊一			
科目概要	人体を構成する各器官系の構造に関する基本的知識を修得する。また各器官系を構成する器官の構造と機能に関する基本的知識を修得する。								
到達目標	1. 各器官の基本的構造を理解する。 2. 主要器官における構造と機能の関連を理解する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	解剖総論	細胞・組織・器官・器官系とは	講義	長門
2	骨格系(1)	概説、分類、骨化、連結	講義	長門
3	骨格系(2)	頭蓋骨、体幹骨	講義	長門
4	骨格系(3)	上肢骨、下肢骨	講義	長門
5	筋系(1)	概説、分類、	講義	長門
6	筋系(2)	頭頚部の筋、体幹の筋	講義	長門
7	筋系(3)	上肢の筋、下肢の筋	講義	長門
8	内臓系(1)	消化器系、呼吸器系	講義	長門
9	内臓系(2)	泌尿器系、男性生殖器	講義	長門
10	内臓系(3)	女性生殖器、内分泌系	講義	長門
11	脈管系(1)	心臓、動脈系	講義	長門
12	脈管系(2)	静脈系、胎児循環、リンパ系	講義	長門
13	神経系(1)	概説、中枢神経系	講義	長門
14	神経系(2)	末梢神経系、自律神経系	講義	長門
15	感覚器系	皮膚、特殊感覚器	講義	長門

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	前田 健康 他　歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1　解剖学・組織発生学・生理学　第1版 医歯薬出版　￥4,600＋税
教材・参考図書	前田 健康 他　歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学　第1版　医歯薬出版　￥4,800＋税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義内容の重要なポイントをノートに記録し、その内容を自宅で学習すること。 理解度に合わせて講義の日程や内容を変更・追加することがあるため、授業中の指示を確認すること。

科目名	組織・発生学								歯科衛生科
学年	1年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	長門　俊一				科目担当者	長門　俊一			
科目概要	生命の最小単位である細胞ならびに細胞の集りで構成される組織に関する基本的知識を修得する。 組織の集りで構成される各臓器の構造を微細構造レベルで修得する。 また、人体の発生に関する基本的知識を修得する。								
到達目標	1.各器官の構造を細胞・組織のレベルで理解する。 2.各器官の組織構造と機能の関連を理解する。 3.人体を構成する各器官の発生・成長の過程を理解する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	組織学総論(1)	細胞1	講義	長門
2	組織学総論(2)	細胞2、上皮組織	講義	長門
3	組織学総論(3)	結合組織、軟骨組織	講義	長門
4	組織学総論(4)	骨組織、血液	講義	長門
5	組織学総論(5)	筋組織	講義	長門
6	組織学総論(6)	神経組織	講義	長門
7	組織学各論(1)	消化器系	講義	長門
8	組織学各論(2)	呼吸器系	講義	長門
9	組織学各論(3)	泌尿器系	講義	長門
10	組織学各論(4)	生殖器系	講義	長門
11	組織学各論(5)	神経系	講義	長門
12	組織学各論(6)	感覚器系	講義	長門
13	発生学(1)	有糸分裂、減数分裂、生殖細胞の発生	講義	長門
14	発生学(2)	受精から着床まで	講義	長門
15	発生学(3)	二層性胚盤、三層性胚盤、成長と加齢・老化	講義	長門

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	前田 健康 他　歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 第1版　医歯薬出版　￥4,800＋税
教材・参考図書	前田 健康 他　歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1　解剖学・組織発生学・生理学　第1版 医歯薬出版　￥4,600＋税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義内容の重要なポイントをノートに記録し、その内容を自宅で学習すること。 理解度に合わせて講義の日程や内容を変更・追加することがあるため、授業中の指示を確認すること。

科目名	口腔解剖・歯牙解剖学								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	大関　悟				科目担当者	大関　悟			
科目概要	歯・口腔の構造およびその周囲組織に関する基本的知識を修得する。また、歯・口腔の機能、組成に関する基本的知識を修得する。								
到達目標	1.　口腔と顎顔面の基本的な構造と機能について理解する。 2.　顔面と口腔の発生について理解する。 3.　歯と歯周組織の構造と機能、及びそれらの発生過程を理解する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	口腔とその周囲の解剖学(1)	口腔とは、	講義	大関
2	口腔とその周囲の解剖学(2)	口腔を構成する骨	講義	大関
3	口腔とその周囲の解剖学(3)	頭頸部の筋と作用	講義	大関
4	口腔とその周囲の解剖学(4)	顎関節、口腔周囲の脈管	講義	大関
5	口腔とその周囲の解剖学(5)	神経	講義	大関
6	口腔とその周囲の解剖学(6)	唾液腺、咽頭と喉頭の構造	講義	大関
7	歯の形態(1)	歯の解剖学総論、	講義	大関
8	歯の形態(2)	永久歯の特徴①	講義	大関
9	歯の形態(3)	永久歯の特徴②	講義	大関
10	歯の形態(4)	乳歯	講義	大関
11	歯の形態(5)	歯の異常、歯列と咬合	講義	大関
12	歯および歯周組織の構造と機能(1)	エナメル質、象牙質・歯髄複合体	講義	大関
13	歯および歯周組織の構造と機能(2)	セメント質、歯根膜、歯槽骨、歯肉	講義	大関
14	顔面と口腔の発生	顔面の発生、口腔の形成、口蓋の発生、 口蓋裂が生じる理由、舌・腺の発生	講義	大関
15	歯と歯周組織の発生	先行歯の発生、代生歯および加生歯の発生 歯の萌出、歯の脱落と交換	講義	大関

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	前田 健康 他　歯科衛生学シリーズ　歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 第1版　医歯薬出版　￥4,800＋税
教材・参考図書	前田 健康 他　歯科衛生学シリーズ　人体の構造と機能1　解剖学・組織発生学・生理学　第1版 医歯薬出版　￥4,600＋税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	口腔生理学								歯科衛生科
学年	1年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	加藤　健一			科目担当者	加藤　健一				
科目概要	人体の基礎となる遺伝子や細胞レベルから、体を構成する組織に至るまでを広く学び、生体の基礎を理解する。さらに、各組織、臓器の機能を理解するとともに、体全体の生理機能を正常に営む上で、各機能がどのように有機的つながりもち、かつ作用しあっているかを理解する。								
到達目標	1.細胞や遺伝子、各組織の構造・機能連関について説明することができる。 2.体を構成する各臓器の機能を説明することができる。 3.口腔に関係する生理学的機能を説明することができる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	生理学とは　筋と運動	内部環境とホメオスタシスについて理解できる。 筋運動について理解できる。	講義	加藤
2	消化・吸収（1）	口腔から胃までの消化機能を理解できる。	講義	加藤
3	消化・吸収（2）	小腸から大腸、排便機能を理解できる。	講義	加藤
4	循　環（1）	血液・循環系の機能について理解できる。	講義	加藤
5	循　環（2）	循環系の調節、心電図について理解できる。	講義	加藤
6	感覚・神経	感覚系、神経、脳波などについて理解できる。	講義	加藤
7	呼　吸	呼吸器官の機能やその調節について理解できる。	講義	加藤
8	腎機能と排尿	腎機能、尿の生成、排尿機能について理解できる。	講義	加藤
9	内分泌・生殖	ホルモンの作用機序、生殖機能を理解できる。	講義	加藤
10	体　温	体温調節のメカニズムについて理解できる。	講義	加藤
11	歯・口腔・顔面の感覚	顔面を中心に温冷痛覚の機能を理解できる。	講義	加藤
12	味覚と嗅覚	味覚と嗅覚の機能について理解できる。	講義	加藤
13	咬合と咀嚼・吸啜	咬合、咀嚼、吸啜の機能を理解できる。	講義	加藤
14	嚥下と嘔吐	嚥下・嘔吐の機能を理解できる。	講義	加藤
15	発声・発語、唾液	発声のメカニズム、唾液分泌機能を理解できる。	講義	加藤

評価方法							
評価指標	定期試験			－	－	－	合計
評価割合(%)	100			－	－	－	100

教科書	前田 健康 他　歯科衛生学シリーズ　人体の構造と機能１　解剖学・組織発生学・生理学　第1版 医歯薬出版　¥4,600+税 前田 健康 他 歯科衛生学シリーズ　歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版　¥4,800+税
教材・参考図書	適宜指定する。
オフィスアワー	適宜報告する。
履修上の注意点	人体についての基礎知識であり、薬理学、病理学、内科学などを理解する上で必須のものであるため、授業で分からなかったことは、理解できるまで必ず調べたり、質問したりして解決する習慣を身につけること。

科目名	口腔生化学								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	田淵　弘太郎				科目担当者	田淵　弘太郎			
科目概要	人体の構造と機能は、目に見えない生体分子の生化学反応によって営まれており、あらゆる病気の背景には、分子レベルの異常が存在する。本講義では口腔における物質の代謝と機能に関する基本的な知識について講義する。								
到達目標	①　口腔に関する組織、化学的組成を説明できる。 ②　硬組織形成を説明できる。 ③　唾液の成分を説明できる。 ④　デンタルプラークとう蝕、歯周疾患との関係を説明できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	オリエンテーション	細胞の機能、生体の構成要素	講義	田淵
2	栄養素(1)	糖質、タンパク質、脂質	講義	田淵
3	栄養素(2)	ビタミン、無機物	講義	田淵
4	生体の化学反応	消化酵素の働き	講義	田淵
5	歯と歯周組織の生化学(1)	口腔組織の組成と生理的機能	講義	田淵
6	歯と歯周組織の生化学(2)	歯の無機成分と有機成分	講義	田淵
7	歯と歯周組織の生化学(3)	歯の石灰化	講義	田淵
8	硬組織の生化学(1)	骨と歯の石灰化とその特徴	講義	田淵
9	硬組織の生化学(2)	カルシウムとリン酸代謝	講義	田淵
10	硬組織の生化学(3)	骨芽細胞、破骨細胞、血清カルシウムの調節	講義	田淵
11	唾液の生化学(1)	唾液の組成と作用	講義	田淵
12	唾液の生化学(2)	唾液の分泌調節、全身的疾患との関係	講義	田淵
13	プラークの生化学(1)	プラークの種類と形成	講義	田淵
14	プラークの生化学(2)	プラークと口腔疾患	講義	田淵
15	プラークの生化学(3)	口臭と歯周疾患の発症機構	講義	田淵

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	20	10	－	－	－	100

教科書	高橋　信博　他　最新歯科衛生士教本　人体の構造と機能2　栄養と代謝　第1版　医歯薬出版 ￥3,500＋税
教材・参考図書	適宜紹介する。
オフィスアワー	講義の前後
履修上の注意点	各授業後には指示したレポート作成や復習を行うこと。また、授業の8回目終了後に中間試験、15回目の終了後に期末試験を実施する。

科目名	病理学・口腔病理学								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	谷口　邦久				科目担当者	谷口　邦久			
科目概要	口腔疾患および関連する全身疾患の原因、発生機序、経過、転帰および病態の特徴などを理論的に理解し、臨床歯科医学における診断、治療、予防との関わりを知るとともに、歯科衛生士としての口腔保健衛生に関わる疾病の予防や歯科処置の知識、技能の向上を図る。								
到達目標	口腔疾患や関連の全身疾患を挙げることができる。全身疾患の基本的病変を説明できる。各種口腔疾患の病態の特徴を挙げることができる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	1章 病理学序論･病因論、 2章 遺伝性疾患と先天異常	内因、外因、遺伝、遺伝性疾患、先天異常（奇形）	講義	谷口
2	3章 循環障害 4章 代謝障害と退行性病変	循環障害の種類、定義、原因、病態、側副循環 細胞傷害、変性と物質代謝障害、萎縮、細胞死	講義	谷口
3	5章 増殖と修復	肥大、化生、再生･修復、創傷治癒、異物処理	講義	谷口
4	6章 炎症	炎症：定義、原因、炎症に関わる細胞、炎症の分類（急性、慢性）、滲出性炎、肉芽腫性炎	講義	谷口
5	6章 免疫応答異常	アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全、移植免疫	講義	谷口
6	7章 腫瘍	腫瘍(定義、発生機序、種類、腫瘍診断	講義	谷口
7	1章 歯の発育異常 2章 歯の損傷と着色･付着物	歯の異常、歯の物理的損傷、化学的損傷、歯の着色、プラークと歯石	講義	谷口
8	3章 う蝕	う蝕の病因、う蝕の分類、う蝕の組織学的変化	講義	谷口
9	4章 象牙質･歯髄複合体の病態	歯髄炎、歯髄の退行性病変、象牙質の増生、象牙質知覚過敏症	講義	谷口
10	5章 歯周組織の病態	根尖部歯周組織の病変、辺縁部歯周組織の病変	講義	谷口
11	6章 口腔粘膜の病変	口腔粘膜疾患(カンジダ症、扁平苔癬、舌の病変)	講義	谷口
12	7章 口腔領域の嚢胞と腫瘍	口腔の嚢胞(歯原性・非歯原性)、口腔の腫瘍(歯原性・非歯原性)	講義	谷口
13	8章 口腔癌 9章 顎骨の病変	上皮性潜在的悪性疾患(白板症、上皮内癌、口腔扁平上皮癌)、顎骨骨髄炎、腫瘍様病変、顎関節の病変	講義	谷口
14	10章 唾液腺の病変 11章 口腔領域の奇形	流行性耳下腺炎、シェーグレン症候群、唾石症、 顔面と口腔の披裂、発育異常、奇形症候群	講義	谷口
15	12章 口腔組織の加齢変化	歯、歯髄、歯周組織、顎骨、舌、唾液腺などの変化	講義	谷口

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	90	10	－	－	－	－	100

教科書	最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学　医歯薬出版　2022
教材・参考図書	新口腔病理学（医歯薬出版)、新・歯科衛生士教育マニュアル 病理学（クインテッセンス出版）
オフィスアワー	毎週火曜、木曜：16:00～17:30
履修上の注意点	教科書と講義ノートを必ず持参し、授業内容を把握し、講義内容をノートに取ること。

科目名	歯科薬理学								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	加藤　健一					科目担当者	加藤　健一		
科目概要	人体の生理機能を復習しながら体内での薬物動態を理解する。さらに、患者が服用している薬に対する理解や歯科治療に用いる薬の理解を深めることで、歯科衛生士として患者への適切な臨床対応が取れるようにする。								
到達目標	① 薬がどのような作用機序で疾患を改善していくかを説明できる。 ② 患者が服用している薬を理解することで、より適切な臨床対応について説明することができる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	薬物の作用と薬物動態	薬物についての基礎知識と薬物の生体内での動態について理解できる。	講義	加藤
2	薬物の適用法の種類他	薬物の適用法の違いと特徴を理解できる。	講義	加藤
3	薬物に影響を与える因子他	薬物に影響を与える因子や副作用を理解できる。	講義	加藤
4	薬品を適用するときの注意	薬物適用時の注意点、取扱いを理解できる。	講義	加藤
5	薬物と法律	医薬品の分類、取扱い時の注意点を理解できる。	講義	加藤
6	ビタミン・ホルモン、末梢神経系の薬物	薬物としてのビタミン、ホルモン、また末梢神経に作用する薬物を理解できる。	講義	加藤
7	中枢神経に作用する薬物	中枢神経に作用する薬物を理解できる。	講義	加藤
8	循環・腎・呼吸器系に作用する薬物	循環・腎・呼吸器系に作用する薬物について理解できる。	講義	加藤
9	消化器系・血液に作用する薬物	消化器系、血液凝固・抗凝固に作用する薬物を理解できる。	講義	加藤
10	免疫・腫瘍に作用する薬物他	免疫・腫瘍・代謝疾患に作用する薬物を理解できる。	講義	加藤
11	炎症・痛みに作用する薬物	炎症・痛みを抑制する薬物を理解できる。	講義	加藤
12	局所麻酔薬	局所麻酔薬の作用などについて理解できる。	講義	加藤
13	抗感染症・消毒薬	抗感染症薬と消毒薬について理解できる。	講義	加藤
14	う蝕予防・歯内療法薬	う蝕予防・歯内療法薬について理解できる。	講義	加藤
15	歯周病薬他	歯周病治療薬・口腔粘膜疾患に作用する薬物を理解できる。また、漢方薬についても学ぶ。	講義	加藤

評価方法							
評価指標	定期試験	－	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	鈴木 邦明 他　最新歯科衛生士教本　疾病の成り立ち及び回復過程の促進3　薬理学　第2版　医歯薬出版 ¥3,200円＋税
教材・参考図書	適宜指定する。
オフィスアワー	適宜報告する。
履修上の注意点	薬の人体への作用を理解する。患者が処方されている薬を理解することで、より適切な臨床対応ができるような知識を身に付けること。授業で分からなかったことは、理解できるまで必ず自分で調べ、考え、質問し、解決する習慣を身につけること。

科目名	口腔微生物学								歯科衛生科
学年	1年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	中山　浩次				科目担当者	中山　浩次			
科目概要	微生物学とは、感染症の成り立ちを知る学問である。そのためには、個々の微生物の病原性について理解することはもちろん、生体の防御能についても知る必要がある。感染症の成り立ち、微生物側の病原性、宿主防御機構と免疫について概説する。								
到達目標	１．疾病と微生物について説明できる。 ２．微生物の病原性について説明できる。 ３．宿主防御機構について説明できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	疾病と微生物１	疾病と微生物、免疫学	講義	中山
2	疾病と微生物２	感染と感染症	講義	中山
3	微生物の病原性１	微生物の位置づけ	講義	中山
4	微生物の病原性２	細菌	講義	中山
5	微生物の病原性３	ﾏｲｺﾌﾟﾗｽﾞﾏ属, スピロヘータ, リケッチア, クラミジヤ, ウイルス	講義	中山
6	微生物の病原性４	歯科に関連するウイルスとウイルス感染症 その他の微生物（真菌・原虫）	講義	中山
7	宿主防御機構と免疫１	宿主防御機構	講義	中山
8	宿主防御機構と免疫２	免疫機構	講義	中山
9	口腔微生物学１	口腔細菌叢	講義	中山
10	口腔微生物学２	デンタルプラーク	講義	中山
11	口腔感染症１	う蝕・歯内感染症	講義	中山
12	口腔感染症２	歯周病・その他の口腔感染症	講義	中山
13	化学療法１	化学療法と化学療法学	講義	中山
14	化学療法２	抗菌スペクトル、生体内動態、薬剤感受性試験 他	講義	中山
15	院内感染対策と滅菌・消毒	口腔感染症と院内感染症対策、滅菌消毒と方法	講義	中山

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	80	20	－	－	－	－	100

教科書	木村 重信 他　最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進２　微生物学　第１版 医歯薬出版　¥3,000円＋税
教材・参考図書	適宜紹介する。
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので，理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。

科目名	口腔衛生学								歯科衛生科
学年	1年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	本川　渉				科目担当者	本川　渉			
科目概要	健康寿命の延伸に向けた歯・口腔の健康を維持・向上のために必要な知識を習得する。 口腔清掃の基本的知識を学び、う蝕予防の考え方、フッ化物に関する基礎知識とう蝕予防方法、歯科疾患の疫学についての知識を修得する。								
到達目標	1.　歯・口腔の健康と予防について説明できる。 2.　う蝕の発生要因とリスク要因が説明できる。 3.　フッ化物の基礎知識、中毒、う蝕予防方法について説明できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	総説(1)　口腔衛生学の意義	口腔と健康,歯・口腔の発育と変化	講義	本川
2	総説(2)	口腔環境,歯・口腔の不潔	講義	本川
3	プラークコントロールの意義	口腔清掃の種類,口腔清掃用具の種類,歯磨剤	講義	本川
4	口腔清掃	洗口剤の組成と配合目的・薬効,ブラッシング法と特徴,為害作用,歯垢染色剤,舌清掃の方法	講義	本川
5	う蝕の予防	う蝕の有病状況・発生要因と機序,初期う蝕と再石灰化,う蝕の活動性,う蝕活動性試験	講義	本川
6	う蝕の予防方法(1)	第1～3次予防,フッ化物の分布, フッ化物の摂取と代謝・毒性,う蝕予防機序	講義	本川
7	う蝕の予防方法(2)	う蝕予防への全身応用・局所応用,う蝕予防効果	講義	本川
8	歯周病の予防(1)	基礎知識	講義	本川
9	歯周病の予防(2)	予防方法	講義	本川
10	う蝕に関する指標,	DMF率,DMF指数,dmf率,def率,dmf指数,def指数	講義	本川
11	歯周病に関する指標(1)	PMA Index,PI,PDI	講義	本川
12	歯周病に関する指標(2)	GB Count,GI,CPI	講義	本川
13	口腔清掃状態に関する指標(1)	OHI,DI,CI,OHI-S	講義	本川
14	口腔清掃状態に関する指標(2)	PHP,PII,PCR,	講義	本川
15	歯のフッ素症に関する指標	CFI,不正咬合に関する指標	講義	本川
16	その他の歯科疾患の予防(1)	不正咬合の予防,口臭の予防	講義	本川
17	その他の歯科疾患の予防(2)	その他の歯科疾患・異常の予防	講義	本川
18	地域歯科保健活動 基礎知識(1)	地域口腔保健活動の意義,WHO憲章,プライマリヘルスケア, ヘルスプロモーション,口腔保健活動の目標,対象と活動分野,ライフステージ別の口腔保健の課題	講義	本川
19	地域歯科保健活動 基礎知識(2)	口腔保健教育,歯・口腔の健康診査と事後措置,地域特性の把握と地域口腔活動保健の進め方,歯科衛生士の役割	講義	本川
20	地域歯科保健	市町村と都道府県の歯科保健業務,保健所の歯科保健業務,市町村保健センターの歯科保健業務,8020	講義	本川

		運動,国民健康づくり対策		
21	母子歯科保健(1)	母子歯科保健の意義,妊産婦・乳幼児の口腔保健, 妊産婦・乳幼児の歯科健康診査と保健指導	講義	本川
22	母子歯科保健(2)	1歳6か月児歯科健康診査と保健指導	講義	本川
23	母子歯科保健(3)	3歳児歯科健康診査と保健指導,	講義	本川
24	学校歯科保健(1)	歯・口の健康づくりの領域と構造 a.　保健教育　b.保健管理 c.組織活動 学校歯科医	講義	本川
25	学校歯科保健(2)	特別支援教育での保健管理 歯・口腔の健康診断と事後措置	講義	本川
26	産業歯科保健 〈職域口腔保健〉	職業性歯科疾患,歯の酸蝕症	講義	本川
27	産業歯科保健 〈職域口腔保健〉	産業歯科保健活動 a.産業歯科医　b.歯科健康診断　c.トータルヘルスプロモーション〈THP〉における歯科保健活動, 職域での口腔保健管理	講義	本川
28	成人・高齢者・要介護者・障害者歯科保健	成人・高齢者の歯科保健に関連する法律等に基づく保健事業 a.口腔の健康教育　b.口腔の健康相談　c.歯周疾患検診　d.介護予防（オーラルフレイル）　e.口腔保健に関する訪問指導（居宅療養管理指導） 要支援・要介護・障害者への歯科保健（介護保険法、介護予防）	講義	本川
29	災害時の歯科保健	大規模災害時の保健医療対策 被災地での歯科保健活動	講義	本川
30	国際歯科保健	世界の歯科保健の現状 開発途上国への歯科保健医療協力	講義	本川

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	荒川 浩久 他　歯科衛生士テキスト 口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第4版- 学建書院　￥3,000＋税 可児 徳子 他　最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1　保健生態学 第3版　医歯薬出版　￥5,600＋税
教材・参考図書	足立三枝子他　最新歯科衛生士教本　口腔保健管理　医歯薬出版　￥3,200＋税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科衛生統計								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	本川　渉				科目担当者	本川　渉			
科目概要	疫学とEBMの概念を理解し、臨床や地域保健の場で得られた情報を客観的に評価し分析する能力を修得する。歯科衛生統計を日常臨床や公衆衛生の場で役立てられるよう、分析などの手順に関する基本的事項、歯科疾患の疫学的特徴や評価法について理解する。								
到達目標	1. 疫学とEBMの概念を説明できる。 2. 疫学の研究方法およびスクリーニング検査について説明できる。 3. 歯科保健に関する指数、歯科保健指標について説明できる。 4. 齲蝕、歯周疾患、口腔清掃状態の指数を計算できる。 5. 歯科衛生統計の調査結果から口腔保健の動向について考察することができる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	疫学概論 疫学の方法	疫学とは,EBM,観察疫学,介入研究,	講義	本川
2	歯科疾患の指標(1)	う蝕・歯周病に関する指標	講義	本川
3	歯科疾患の指標(2)	歯周病・口腔清掃状態に関する指標	講義	本川
4	歯科疾患の指標(3)	口腔清掃状態・歯のフッ素症・不正咬合に関する指標	講義	本川
5	歯科疾患の疫学	う蝕の疫学（宿主要因・環境要因・病因・時間要因との関連）,歯周病の疫学(宿主要因・環境要因・病因との関連),歯の喪失の疫学,口腔の悪性新生物の疫学	講義	本川
6	衛生統計の基礎(1) 疫学調査の進め方 データのまとめ方	母集団と標本,標本調査,データの尺度,度数分布,代表値と散布度,単純集計,クロス集計	講義	本川
7	衛生統計の基礎(2) データの分析法 検定結果の解釈	推定と検定,相関 標本平均値の差の検定,カイ二乗検定	講義	本川
8	歯科保健統計	歯科疾患実態調査,国民健康・栄養調査, 学校保健統計調査,患者調査	講義	本川

評価方法							
評価指標	定期試験	－	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	荒川 浩久 他　歯科衛生士テキスト 口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第4版- 学建書院　￥3,000＋税 眞木 吉信 他　最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 3　保健情報統計学 第1版　医歯薬出版　￥2,800＋税
教材・参考図書	可児 徳子 他　最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1　保健生態学 第3版　医歯薬出版　￥5,600＋税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	衛生学・公衆衛生学								歯科衛生科
学年	2年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	藤川　一也					科目担当者	藤川　一也		
科目概要	人びとを取り巻く様々な環境における健康と疾病、予防医学の概念や、法律・制度などの基本的な社会の仕組みについて理解し、現在の日本における保健・医療・福祉の現状を理解する。またその中で行われる保健活動においての歯科衛生士の役割を学修する。								
到達目標	1. 健康・予防医学の概念が理解できる。 2. 疫学の定義や研究方法が理解できる。 3. 人口の動向や人口統計について理解できる。 4. 健康と環境の関係や、環境破壊、公害問題が理解できる。 5. 感染症の概念やその予防策が理解できる。 6. 食中毒の分類と特徴が説明できる。 7. 各ライフステージにおける健康に関する知識、および行政の制度や保健活動における歯科衛生士の役割を理解する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	総論 健康の概念と保持増進	健康の概念、予防の考え方と適用、第一次予防・第二次予防 ・第三次予防	講義	藤川
2	疫学	疫学の定義および概要、疫学の方法	講義	藤川
3	人口	人口の動向、人口動態統計、生命表	講義	藤川
4	健康と環境（1）	環境の概念、空気・水と健康、放射線と健康	講義	藤川
5	健康と環境（2）	住居・衣服と健康、地球環境の変化と健康への影響、	講義	藤川
6	健康と環境（3）	公害と健康への影響、廃棄物処理	講義	藤川
7	感染症	感染症の成り立ち、感染症の予防、感染症の動向	講義	藤川
8	食品と健康	食品保健、栄養と健康	講義	藤川
9	地域保健・公衆衛生（1）	地域社会と地域保健の概念、地域保健の組織	講義	藤川
10	地域保健・公衆衛生（2）	地域保健の新たな概念、地域保健活動の進め方、健康づくり対策と地域歯科保健	講義	藤川
11	母子保健	目的および概要、母子保健、小児保健、歯・口腔について、母子保健の現状と今後	講義	藤川
12	学校保健	意義および概要、活動と組織、学校歯科保健	講義	藤川
13	成人保健、産業保健	成人保健の意義と特徴、成人保健活動の現状、成人保健対策、成人期の歯科保健、産業保健の概念、職業性疾病、産業保健管理、産業保健活動	講義	藤川
14	高齢者保健、精神保健、障害者への歯科保健	高齢者保健の意義、行政組織と関係する法律、精神保健とは、精神保健のあゆみ、精神保健・医療・福祉、精神障碍者の歯科保健	講義	藤川
15	災害時の歯科保健、国際保健	大規模災害時の保健医療対策、被災地での歯科保健活動、歯科衛生士の役割、開発途上国における健康問題、SDGs、国際協力、口腔保健の状況	講義	藤川
評価方法				

評価指標	定期試験	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	可児 徳子 他　最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み１　保健生態学 第３版　医歯薬出版　￥5,600+税
教材・参考図書	末髙 武彦 他　歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険　第 10 版　医歯薬出版　￥2,800+税 末髙 武彦 他　デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学　第１版　医歯薬出版　￥2,800+税 荒川 浩久 他　医療スタッフのための衛生学エッセンス　-2022/2023-　第 6 版　学建書院　￥2,500+税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	衛生行政								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	藤代　一也				科目担当者	藤代　一也			
科目概要	歯科医療の現場において、歯科衛生業務を提供するうえで必要な法律や制度、行政の基本的仕組みを体系的に学修する。								
到達目標	1. 歯科衛生士法における歯科衛生士資格とその業務について説明できる。 2. 歯科医師・歯科技工士に関する法律が理解できる。 3. 医療法や、歯科口腔保健の推進に関する法律の概要が理解できる。 4. 歯科衛生士と関わる医療関係者の関連法規や、業務内容が理解できる。 5. 歯科医療従事者数の推移や、国民の受療状況や医療費の動向が説明できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	歯科衛生士と法律（1）	衛生行政の目的と組織、歯科衛生士法	講義	藤川
2	歯科衛生士と法律（2）	歯科衛生士法	講義	藤川
3	歯科衛生士と法律（3）	歯科医師法、歯科技工士法、歯科口腔保健の推進に関する法律、医療法	講義	藤川
4	医療関係職種（1）	歯科医療と係る医療関係者、保健師助産師看護師法	講義	藤川
5	医療関係職種（2）	診療放射線技師、言語聴覚士、医師法、薬剤師法、その他の医療関係職種に係る法律	講義	藤川
6	その他の関係法規（1）	薬事に関連する法規	講義	藤川
7	その他の関係法規（2）	地域保健に関連する法規、その他の衛生法規	講義	藤川
8	医療の動向	医療状況の動向	講義	藤川

評価方法							
評価指標	定期試験	－	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	石井 拓男 他　最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2　歯科衛生士と法律・制度　第3版　医歯薬出版　￥2,800+税
教材・参考図書	末髙 武彦 他　歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険　第 10 版　医歯薬出版　￥2,800+税 末髙 武彦 他　デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学　第1版　医歯薬出版　￥2,800+税 荒川 浩久 他　医療スタッフのための衛生学エッセンス　-2022/2023-　第 6 版　学建書院　￥2,500+税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	社会福祉論								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	藤代　一也				科目担当者	藤代　一也			
科目概要	社会保障制度に基づいて行われる医療・保険・福祉に関する知識を体系的に学修し、歯科医療の現場において社会背景を常に意識した適切な歯科衛生士業務が展開できる能力を修得する。								
到達目標	1.　社会保障の種類について列挙できる。 2.　各社会保険の種類と特徴、仕組みについて理解できる。 3.　歯科衛生士に関係する社会福祉について理解できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	社会保障	我が国の社会保障制度、社会保険	講義	藤川
2	医療保険（1）	医療制度改革、医療保険の種類	講義	藤川
3	医療保険（2）	健康保険、国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律、審査支払機関	講義	藤川
4	介護保険（1）	保険者と被保険者、要介護認定	講義	藤川
5	介護保険（2）	保険給付、地域包括支援センター	講義	藤川
6	年金保険雇用保険と労働者災害補償保険	年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険	講義	藤川
7	社会福祉（1）	社会福祉行政、生活保護と法規、児童と家庭の福祉制度と法規	講義	藤川
8	社会福祉（2）	障害者の福祉制度と法律、老人福祉法	講義	藤川

評価方法							
評価指標	定期試験	－	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	石井 拓男 他　最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2 歯科衛生士と法律・制度　第3版　医歯薬出版　￥2,800+税
教材・参考図書	末髙武彦 他　歯科衛生士のための衛生行政･社会福祉･社会保険　第10版　医歯薬出版　￥2,800+税 末髙武彦 他　デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学　第1版　医歯薬出版　￥2,800+税 荒川浩久 他　医療スタッフのための衛生学エッセンス　-2022/2023-　第 6 版　学建書院　￥2,500+税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科衛生士概論								歯科衛生科
学年	1年	学期	前期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	貴島　聡子					科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁		
科目概要	保健、医療、福祉に関わることの意義をみつけ、専門職として必要な知識や対象とする人のニーズの把握の仕方、さらに歯科衛生業務を実践するために必要な考え方を修得する。								
到達目標	1.　歯科衛生士法と3大歯科衛生業務を理解する。 2.　医療倫理、医療安全管理およびチームアプローチについて理解する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	歯科衛生学とは	歯科衛生学の定義	講義	貴島
2	歯科衛生の歴史	歯科衛生の誕生と経緯,歯科衛生の背景	講義	眞武
3	歯科衛生士法と歯科衛生業務(1)	歯科衛生業務の法的性格,業務独占,名称独占	講義	貴島
4	歯科衛生士法と歯科衛生業務(2)	医療安全,リスクマネジメント	講義	田頭
5	歯科衛生士法と歯科衛生業務(3)	感染予防対策	講義	田頭
6	歯科衛生士と医療倫理	医の倫理,インフォームド・コンセント	講義	田頭
7	化粧療法	ライフクオリティビューティセミナー	演習	貴島
8	自分の目指す歯科衛生士像(1)	医療従事者の身だしなみ　①	演習	貴島
9	自分の目指す歯科衛生士像(2)	医療従事者の身だしなみ　②	演習	貴島
10	歯科衛生活動のための理論	批判的思考,ヒューマンニーズ理論	講義	眞武
11	歯科衛生過程	歯科衛生過程の6つの構成要素,SOAP	講義	貴島
12	歯科衛生士の活動と組織(1)	歯科衛生活動の現況	講義	眞武
13	歯科衛生士の活動と組織(2)	歯科衛生活動の場,歯科衛生士と組織	講義	眞武
14	チームアプローチ	歯科衛生活動の場　周術期の管理	講義	田頭
15	海外における歯科衛生士まとめ	海外における歯科衛生士のあゆみと現状	講義	貴島

評価方法							
評価指標	定期試験	－	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	－	－	－	－	－	100

教科書	遠藤 恵子　他　最新歯科衛生士教本　歯科衛生学総論　第1版　医歯薬出版　￥2,700＋税
教材・参考図書	高阪利美 他　最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第 2 版　医歯薬出版　￥8,200+税 合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版　医歯薬出版　￥6,000+税 可児 徳子　他　最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1　保健生態学　第3版　医歯薬出版　￥5,600円＋税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	医療倫理学								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	専門	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	貴島　聡子				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	新しい医の倫理の原則を学ぶとともに、歯科衛生士に求められる職業人としての心構えやインフォームド・コンセントに基づいた患者対応、医療現場で必要となるコミュニケーション技術やその基礎となる行動科学について学修する。								
到達目標	1. 医療倫理とは何か。簡潔に説明できる。 2. 医の倫理に関する宣言等を理解する。 3. インフォームド・コンセント、インフォームド・リフューザル、インフォームド・チョイスについて説明できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	医療倫理	新しい医の倫理の原則	講義	貴島
2	医療倫理に関する規範	医の倫理に関する宣言 ヒポクラテスの誓い, ジュネーブ宣言, 医の倫理の国際網領, ニュルンベルク網領, ヘルシンキ宣言 リスボン宣言	講義	眞武
3	バイオエシックス （生命倫理学）	職業倫理に関する規範, バイオエシックスとは 生命倫理, インフォームド・リフューザル 安楽死, 尊厳死, 脳死 臓器移植, 遺伝子治療, 再生医療	講義	田頭
4	インフォームド・コンセント	インフォームド・チョイス, セカンドオピニオン	講義	田頭
5	研究と医療倫理の関わり	人を対象とした研究の倫理指針	講義	貴島
6	歯科医療倫理の行動科学	生活行動, 保健行動, QOL	講義	貴島
7	倫理的問題への対処	守秘義務, 著作権法, 臨床での問題事例	講義	眞武
8	医療倫理の規範と法令 まとめ	職業倫理に関する規範	講義	田頭

評価方法							
評価指標	定期試験	－	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	－	－	－	－	－	100

教科書	樫　則章 他　最新歯科衛生士教本　歯科医療倫理　第2版　医歯薬出版　￥2,200＋税
教材・参考図書	遠藤恵子　他　最新歯科衛生士教本　歯科衛生学総論　第1版　医歯薬出版　￥2700＋税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	保存修復学・歯内療法学								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	本川　渉				科目担当者	本川　渉			
科目概要	歯の保存修復治療および歯内療法について理解し、その歯科治療において歯科衛生業務を行うために必要な専門的知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1.　歯の硬組織疾患の種類とその治療法における歯科衛生士の役割を理解する。 2.　歯内療法領域の主な疾患の種類とその治療法における歯科衛生士の役割が理解する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	歯の保存療法とは	歯の保存療法の種類、口腔検査（歯の硬組織検査）	講義	本川
2	保存修復（1）	保存修復の概要	講義	本川
3	保存修復（2）	直接法修復（コンポジットレジン修復）	講義	本川
4	保存修復（3）	直接法修復（セメント修復、アマルガム修復の現状）	講義	本川
5	保存修復（4）	間接法修復（メタルインレーおよびアンレー修復, セラミックインレー修復、コンポジットレジンインレー修復）	講義	本川
6	保存修復（5）	間接法修復（ベニア修復、合着材・接着材）	講義	本川
7	保存修復（6）	保存修復における歯科衛生士の役割（検査・診断時の業務、直接修復の診療補助）	講義	本川
8	保存修復（7）	保存修復における歯科衛生士の役割（直接・間接修復の診療補助、保存修復時の補助手技、器材・薬剤の保管・管理）	講義	本川
9	歯内療法（1）	歯内療法の概要	講義	本川
10	歯内療法（2）	歯髄保存療法、歯髄の除去療法	講義	本川
11	歯内療法（3）	根管治療	講義	本川
12	歯内療法（4）	根管充填	講義	本川
13	歯内療法（5）	外科的歯内療法、歯の外傷	講義	本川
14	歯内療法（6）	安全対策、歯内療法における歯科衛生士の役割（検査・診断時の業務、歯髄処置時の診療補助業務）	講義	本川
15	歯内療法（7）	歯内療法における歯科衛生士の役割（歯髄処置時の診療補助業務）	講義	本川

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	千田 彰　他　最新歯科衛生士教本　歯の硬組織・歯髄疾患　保存修復・歯内療法　第1版　医歯薬出版
教材・参考図書	合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版　医歯薬出版　￥6,000+税 末瀬 一彦他　最新歯科衛生士教本　歯科機器　第1版　医歯薬出版　￥3,200＋税 末瀬 一彦他　最新歯科衛生士教本　歯科材料　第1版　医歯薬出版　￥3,500＋税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯周病学								歯科衛生科
学年	2年	学期	前期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	谷口　邦久				科目担当者	谷口　邦久			
科目概要	歯周病を予防するために、歯周組織に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解し、その歯科治療において歯科衛生業務を行うために必要な専門的知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1.　歯周組織の構造や歯周疾患の基礎知識(分類と原因)、全身疾患との関連が理解できる。 2.　さまざまな歯周治療や機能回復の内容および歯周治療における歯科衛生士の役割が理解できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	歯周治療の基礎知識（1）	歯周治療とは、正常な歯周組織の構造と機能	講義	谷口
2	歯周治療の基礎知識（2）	歯周病の分類	講義	谷口
3	歯周治療の基礎知識（3）	歯周病の原因、歯周医学、インプラント周囲疾患	講義	谷口
4	歯周治療の進め方	歯周病の予防と歯周治療の基本、歯周治療の進め方	講義	谷口
5	歯周病の検査（1）	主訴を中心とした一般検査、歯周病検査	講義	谷口
6	歯周病の検査（2）	咬合の診査、画像診断、その他の検査	講義	谷口
7	歯周基本治療	歯周基本治療の目的と効果、内容と実際、薬物療法	講義	谷口
8	歯周外科治療（1）	歯周外科治療の目的と分類、歯周外科治療後の治癒形態、歯周外科治療に用いる器材	講義	谷口
9	歯周外科治療（2）	種々の歯周外科治療	講義	谷口
10	歯周外科治療（3）	根分岐部病変の治療、歯周-歯内病変の治療	講義	谷口
11	口腔機能回復治療	咬合調整、歯周-矯正治療、歯の固定法、歯科用インプラントによる治療	講義	谷口
12	メインテナンス	メインテナンスの重要性とその意義、メインテナンス・SPTの実際と内容	講義	谷口
13	歯周治療における歯科衛生士の業務（1）	歯周治療の進め方、検査・診断時の補助、リスクファクターに対する指導	講義	谷口
14	歯周治療における歯科衛生士の業務（2）	スケーリング・ルートプレーニング、歯周外科治療	講義	谷口
15	歯周治療における歯科衛生士の業務（3）	口腔機能回復治療、メインテナンス・SPT、診療室と器具・器材の管理	講義	谷口

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	80	20	－	－	－	－	100

教科書	申基喆 他　最新歯科衛生士教本　歯周病学　第2版　医歯薬出版　￥3,850+税
教材・参考図書	
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	教科書および講義ノートを持参する。 各章ごとに復習し、講義内容を整理する。

科目名	歯科補綴学								歯科衛生科
学年	2年	学期	前期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	本川　渉				科目担当者	本川　渉			
科目概要	歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部、あるいは全部の歯の欠損に対する咬合回復の治療法に対する歯科衛生業務を行うために、専門的な知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1.　歯および歯列の形態・位置的関係、顎口腔系の機能・咬合を説明できる。 2.　補綴歯科治療における歯科衛生士の役割が理解できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	補綴歯科診療の概要（1）	補綴とは、補綴歯科治療の意義と目的、歯の欠損に伴う生理的変化	講義	本川
2	補綴歯科診療の概要（2）	補綴歯科治療時の方法と補綴装置、補綴歯科治療における歯科衛生士の役割	講義	本川
3	補綴歯科治療の基礎知識（1）	歯列と咬合、補綴学的基準平面	講義	本川
4	補綴歯科治療の基礎知識（2）	口腔の機能、顎関節の構造・機能と病態	講義	本川
5	補綴歯科治療における検査（1）	医療面接、口腔内検査、画像検査、咬合と顎口腔機能の検査①	講義	本川
6	補綴歯科治療における検査（2）	咬合と顎口腔機能の検査②	講義	本川
7	クラウン・ブリッジ治療（1）	治療の概要	講義	本川
8	クラウン・ブリッジ治療（2）	治療の流れと診療の補助、患者への説明と指導、メインテナンス	講義	本川
9	クラウン・ブリッジ治療（3）	治療に伴うトラブルとその対応	講義	本川
10	有床義歯治療（1）	治療の概要	講義	本川
11	有床義歯治療（2）	治療の流れと診療の補助、患者への説明と指導	講義	本川
12	有床義歯治療（3）	治療に伴うトラブルとその対応	講義	本川
13	インプラント治療(1)	治療の流れと診療補助、治療の流れに沿った器材 無歯顎症例に対する治療	講義	本川
14	インプラント治療(2)	リコールとメインテナンス 上下無歯顎症例に対するインプラント治療、 治療に伴うトラブルとその対応	講義	本川
15	特殊な口腔内装置を用いる治療	顎顔面補綴、構音・嚥下機能の補助、顎関節症、スポーツ外傷の予防、睡眠時無呼吸症候群	講義	本川

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	赤川 安正 他　最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常１　歯科補綴　第２版　医歯薬出版　￥3,400+税
教材・参考図書	合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第２版　医歯薬出版　￥6,000+税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	口腔外科・歯科麻酔学								歯科衛生科
学年	2年	学期	前期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	大関　悟				科目担当者	大関　悟			
科目概要	歯科衛生業務を行うために必要な顎・口腔領域に生じる各種疾患の特徴と症状、診断法および治療法と、全身管理、局所麻酔、精神鎮静法および全身麻酔を理解する。								
到達目標	1.　口腔外科領域で取り扱う疾患の特徴と治療法において、歯科衛生士の役割が理解できる。 2.　歯科治療における歯科麻酔の役割と、麻酔法が理解できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	口腔外科の概要	口腔外科の概要、口腔病変と全身疾患、基礎疾患と歯科治療	講義	大関
2	口腔領域の先天異常と発育異常	歯・口腔軟組織の異常、口唇・口蓋裂、顎変形症	講義	大関
3	顎・口腔領域の損傷および機能障害	軟組織の損傷、歯および歯槽の外傷、顎骨骨折	講義	大関
4	口腔粘膜の病変(1)	水泡、紅斑、潰瘍、白斑、色素沈着、粘膜委縮、口腔乾燥、粘膜出血、その他の疾患	講義	大関
5	口腔粘膜の病変(2)	口腔乾燥、粘膜出血、その他の疾患	講義	大関
6	顎・口腔領域の化膿性炎症疾患	炎症とは、歯周組織・顎骨周囲組織の炎症、骨吸収抑制薬関連顎骨壊死、上顎洞炎、ドライソケット	講義	大関
7	顎・口腔領域の嚢胞性疾患	嚢胞とは、顎骨・軟組織に発生する嚢胞	講義	大関
8	顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患	腫瘍とは、腫瘍の分類、歯原生・非歯原性腫瘍、腫瘍類似疾患、顎・口腔領域の悪性腫瘍	講義	大関
9	唾液腺疾患、顎関節疾患	炎症性唾液腺疾患、唾石症、分泌異常、唾液腺腫瘍、顎関節疾患	講義	大関
10	口腔領域の神経疾患	神経痛、神経麻痺、神経痙攣	講義	大関
11	口腔外科診療の実際（1）	抜歯術、消炎手術、止血処置	講義	大関
12	口腔外科診療の実際（2）	嚢胞摘出術、歯根端切除術、良性腫瘍摘出術、歯槽骨整形術、小帯切除術	講義	大関
13	歯科治療と麻酔（1）	歯科麻酔と患者管理、局所麻酔	講義	大関
14	歯科治療と麻酔（2）	精神鎮静法、全身麻酔救急蘇生法	講義	大関
15	歯科治療と麻酔（3）	救急蘇生法	講義	大関

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	山根 源之 他　最新歯科衛生士教本　顎・口腔粘膜疾患　口腔外科・歯科麻酔　第 1 版　医歯薬出版　￥3,400+税
教材・参考図書	合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版　医歯薬出版　￥6,000+税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	小児歯科学								歯科衛生科
学年	2年	学期	前期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	本川　渉					科目担当者	本川　渉		
科目概要	発育過程にある小児の身体的・心理的特徴について理解し、その歯科治療において歯科衛生業務を行うために必要な専門的知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1.　小児の発育段階とその特徴、対応法が説明できる。 2.　小児の歯科疾患の特徴とその治療法、歯科衛生士の役割が理解できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	小児歯科診療の基礎知識(1)	小児歯科概論、心身の発育	講義	本川
2	小児歯科診療の基礎知識(2)	小児の生理的特徴、顔面頭蓋の発育	講義	本川
3	小児歯科診療の基礎知識(3)	歯の発育とその異常	講義	本川
4	小児歯科診療の基礎知識(4)	歯列・咬合の発育と異常	講義	本川
5	小児歯科診療の基礎知識(5)	小児の歯科疾患	講義	本川
6	小児虐待、小児期の特徴と歯科的問題点	小児虐待とは、小児期の特徴と歯科的問題点	講義	本川
7	小児歯科における患者との対応法	小児・保護者と歯科医師・歯科衛生士との関係、小児の態度と行動、年齢別行動と対応法、歯科治療時の対応法	講義	本川
8	小児歯科における診療体系(1)	小児歯科診療の特徴、原則、診察・検査・診断、歯の健康教室、器材の管理	講義	本川
9	小児歯科における診療体系(2)	小児歯科における麻酔法、歯冠修復	講義	本川
10	小児歯科における診療体系(3)	歯内療法、外科処置	講義	本川
11	小児歯科における診療体系(4)	外傷の処置、咬合誘導	講義	本川
12	小児歯科における診療体系(5)	フッ化ジアンミン銀塗布、リコール	講義	本川
13	障害児の歯科治療	主な障害と全身的・歯科的特徴、対応	講義	本川
14	う蝕予防	プラークコントロール、フッ化物の応用、小窩裂溝填塞法、代用甘味料、食生活指導	講義	本川
15	小児の口腔健康管理	口腔健康管理の目的・方法	講義	本川

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	大嶋　隆 他　最新歯科衛生士教本　小児歯科　第2版　医歯薬出版　￥3,400+税
教材・参考図書	合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版　医歯薬出版　￥6,000+税 高阪 利美 他 最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版　医歯薬出版
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	矯正歯科学								歯科衛生科
学年	2年	学期	前期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	本川　渉				科目担当者	本川　渉			
科目概要	不正咬合の症状および治療法について理解し、その歯科治療において歯科衛生業務を行うために必要な専門的知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1.　不正咬合と、その治療に使用する矯正装置の種類と構成、目的が説明できる。 2.　矯正歯科治療における歯科衛生士の役割が理解できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	矯正歯科治療の概要	矯正歯科治療の目的、需要と必要性、ベネフィットとリスク、チーム医療	講義	本川
2	成長発育	身体の成長発育、頭蓋および顎顔面の成長発育、歯・歯列の成長・発育、口腔機能の発育	講義	本川
3	正常咬合と不正咬合	正常咬合、不正咬合（咬合異常）、分類、原因、予防	講義	本川
4	矯正歯科診断	診断、検査、症例分析、非抜歯治療と抜歯治療	講義	本川
5	矯正歯科治療と“力” -矯正力・顎整形力・保定-	歯の移動と固定、移動と組織反応、移動様式、矯正力と顎整形力、保定	講義	本川
6	矯正装置（1）	可撤式矯正装置、固定式矯正装置	講義	本川
7	矯正装置（2）	機能的矯正装置、拡大装置、顎外固定装置、口腔習癖除去装置、保定装置	講義	本川
8	上下顎の前後的関係の不調和、垂直的関係の不調和	Ⅰ級・Ⅱ級1類・Ⅱ級2類・Ⅲ級不正咬合、過蓋咬合・開咬、各治療の実際	講義	本川
9	成人矯正　　口腔顎顔面の形成異常と変形	補助的・包括的矯正歯科治療、治療の実際、口唇・口蓋裂・先天異常、顎変形症	講義	本川
10	歯の埋伏と歯数の異常 矯正歯科治療時のトラブルへの対応 保険適用の矯正歯科治療	埋伏歯、先天欠如歯、過剰歯、う蝕・歯肉炎・歯周炎、歯根吸収、顎関節症、アレルギー、トラブルへの対応、健康保険が適用される矯正歯科治療	講義	本川
11	矯正歯科診療にかかわる業務　　矯正歯科診療時の業務（1）	診断に関する診療補助、器具・材料の準備と取り扱い	講義	本川
12	矯正歯科診療時の業務（2）	可撤式・固定式（ディボンディング、バンド除去含む）・機能的矯正装置装着時の補助と指導	講義	本川
13	矯正歯科診療時の業務（3）	上顎側方拡大装置・顎外固定装置装着時の補助と指導	講義	本川
14	矯正歯科患者と口腔保健管理	患者へのアプローチ、口腔衛生管理、矯正装置の説明と保健指導の要点	講義	本川
15	口腔筋機能療法 器材、資料、文書の管理	口腔筋機能療法（MFT）、口腔周囲組織のアセスメント、MFTの指導計画、用いる器具、指導法、口腔習癖の改善、MFTの効果、器材、資料、文書の管理	講義	本川

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	氷室 利彦 他　最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常２　歯科矯正　第１版　医歯薬出版　￥3,000+税

教材・参考図書	合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第２版　医歯薬出版　￥6,000+税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科放射線学								歯科衛生科
学年	2年	学期	前期	分野	専門	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	市原　隆洋				科目担当者	市原　隆洋			
科目概要	画像検査は歯科診療において欠かせないものであり、歯科衛生士はエックス線写真撮影時の補助として業務に携わっている。本科目は歯科領域の画像検査に関わる知識として放射線、画像形成、撮影法、放射線防護について学びます。また、撮影装置を用いた撮影準備や位置づけ演習にて実践的な手技を身に付けます。								
到達目標	1. 放射線の種類とその影響を理解する。 2. 画像形成から画像管理までの一連の流れを説明できる。 3. 検査の特徴と撮影方法について説明できる。 4. 放射線防護の分類や体系について説明できる。 5. 口内法撮影およびパノラマエックス線撮影の曝射以外の行為ができる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	放射線について	放射線の種類と影響	講義	市原
2	エックス線画像形成	歯科撮影装置、画像システム、撮影後の処理	講義	市原
3	口内法撮影	口内法撮影の特徴、準備と手順	講義	市原
4	口外法撮影	口外法撮影の特徴、準備と手順	講義	市原
5	その他の撮影	CT、歯科用CT、VF、MRI、US、核医学検査の特徴	講義	市原
6	放射線安全管理、その他	放射線防護の目的と管理、放射線治療について	講義	市原
7	まとめ	各単元の補足およびまとめ	講義	市原
8	撮影演習	口内法、パノラマエックス線撮影演習	演習	市原

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	80	10	10	－	－	－	100

教科書	飯久保 正弘 他　歯科衛生士テキスト わかりやすい歯科放射線学　第3版　学建書院　￥2,600+税
教材・参考図書	なし
オフィスアワー	平日16：30以降
履修上の注意点	放射線や画像検査の原理は難解であるので、特に復習に重きをおいて行ってください。 教科書に記載されているＱＲコードから放射線の動画やアニメーションがみられるため、予習・復習時に利用してください。

科目名	高齢者・障害者歯科学								歯科衛生科
学年	2年	学期	前期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	大関　悟				科目担当者	大関　悟			
科目概要	高齢者および障害者の身体的・精神的特徴と歯科治療について理解し、歯科衛生業務を行うために必要な専門的知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1. 高齢者をとりまく環境や加齢変化を理解し、高齢者を支援するための歯科的方策における歯科衛生士の役割が理解できる。 2. 障害の概念や障害の種類と歯科的特徴について理解し、その歯科治療における歯科衛生士の役割が理解できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	高齢者歯科（1）	高齢者をとりまく社会	講義	大関
2	高齢者歯科（2）	加齢の科学、身体・口腔機能の変化、精神・心理的変化	講義	大関
3	高齢者歯科（3）	高齢者における口腔領域の疾患(1)	講義	大関
4	高齢者歯科（4）	高齢者における口腔領域の疾患(2)	講義	大関
5	高齢者歯科（5）	全身状態の把握と対応	講義	大関
6	高齢者歯科（6）	高齢者歯科医療の場	講義	大関
7	高齢者歯科（7）	口腔衛生管理	講義	大関
8	高齢者歯科（8）	摂食嚥下障害とリハビリテーション	講義	大関
9	高齢者歯科（9）	介護保険における歯科衛生士の役割	講義	大関
10	障害者歯科（1）	障害者と社会福祉、地域医療と障害者歯科、歯科衛生士と障害者歯科	講義	大関
11	障害者歯科（2）	障害の分類と特徴	講義	大関
12	障害者歯科（3）	障害者歯科の診療補助、歯科衛生士と医療安全	講義	大関
13	障害者歯科（4）	コミュニケーションの確立と行動調整	講義	大関
14	障害者歯科（5）	障害者への歯科保健指導と管理、機能訓練	講義	大関
15	障害者歯科（6）	障害者歯科の予防処置、医療連携と福祉との連携	講義	大関

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	森戸 光彦 他　歯科衛生士講座　高齢者歯科学　第3版　永末書店　￥3,500+税 柿木 保明 他　歯科衛生士講座　障害者歯科学　第3版　永末書店　￥3,000+税
教材・参考図書	植田 耕一郎 他　最新歯科衛生士教本　高齢者歯科　第2版　医歯薬出版　￥2,600+税 菊谷　武 著　チェアサイドオーラルフレイルの診かた　第 2 版　保険対応！歯科医院で気づく，対応する口腔機能低下症　詳しくわかる動画付き　医歯薬出版　￥6,000円＋税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科予防処置論Ⅰ								歯科衛生科
学年	1年	学期	前期	分野	専門	時間数	60時間	単位数	2単位
科目責任者	眞武　郁				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	人々の歯・口腔の健康を維持・増進させることができるよう、口腔の2大疾患である「歯周病」と「う蝕」を予防するために、専門的な知識・技術および態度を習得する。								
到達目標	1. 歯科予防処置についての専門知識と技術、および態度を習得する目的と意義を理解するために、その概要について説明できる。 2. 歯・歯周組織と口腔の構造が説明できる。 3. 歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理のための知識・技術および態度を修得する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	歯科予防処置論の概要	歯科予防処置の法的位置づけ 歯周病予防・う蝕予防（根面う蝕を含む） 口腔健康管理とは	講義	眞武
2	口腔の基礎知識	歯・歯周組織と口腔の構造と機能 摂食嚥下の仕組み	講義	眞武
3	口腔内の付着物・沈着物 う蝕の基礎知識	口腔内の付着物・沈着物の種類と成分、プラーク・歯石、う蝕の原因と進行および予防方法	講義	眞武
4	歯周病の基礎知識	歯周病の原因と分類、進行および予防方法	講義	眞武
5	基礎実習オリエンテーション	基礎実習の心得、実習前後の準備、器材提出要領	実習	眞武
6	マネキン・歯牙模型の取扱い	患者頭部の設定 （マキシラアングル、ヘッドローテーション）	実習	眞武
7	術者の基本姿勢、術者の位置 基本セットの取扱い	ミラーテクニック、エキスプローリング ピンセット、小綿球作成、	実習	眞武
8	歯周ポケット測定	歯周プローブの使用目的、基本操作（プロービング） 根分岐部検査（ファーケーションプローブ） 人工歯石塗布、歯肉縁上・縁下歯石探知	実習	眞武
9	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理(1)	主観的情報の把握 医療面接（メディカルインタビュー）	講義	眞武
10	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理(2)	歯式とは、自分の口腔の歯式をとる	講義	眞武
11	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理(3)	口腔内の観察（顔面、歯、歯肉、舌、粘膜、口唇） 相互　（1人目）	実習	眞武
12	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理(4)	口腔内の観察（顔面、歯、歯肉、舌、粘膜、口唇） 相互　（1人目）	実習	眞武
13	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理(5)	口腔内の観察（顔面、歯、歯肉、舌、粘膜、口唇） 相互　（2人目）	実習	眞武
14	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理(6)	口腔内の観察（顔面、歯、歯肉、舌、粘膜、口唇） 相互　（3人目）	実習	眞武
15	歯垢染色法	歯垢染色剤の使用方法と特徴、所要条件、色素種類 5つの注意事項、一般法、滴下法、含嗽法	講義 演習	眞武
16	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理(7)	歯式 歯垢染色法　PCR 探針で測定する方法　PlI（Plaque Index）	実習	眞武

	口腔の器質的問題の把握 (1)	歯肉縁上・縁下プラーク 歯石探知　記録　相互①		
17	口腔の器質的問題の把握 (2)	相互②	実習	眞武
18	口腔の器質的問題の把握 (3)	相互③	実習	眞武
19	口腔の器質的問題の把握 (4) 歯周ポケット測定	歯周プローブの使用目的、基本操作（プロービング）、出血有無、測定部位・測定法、記録方法 根分岐部検査（ファーケーションプローブ） 歯の動揺度　　相互①	実習	眞武
20	歯周ポケット測定（1）	相互②	実習	眞武
21	歯周ポケット測定（2）	相互③	実習	眞武
22	歯科衛生介入としての歯科予防処置　手用スケーラー	器具の種類と特徴、操作方法 イリゲーション（洗浄）	講義	眞武
23	シックル型スケーラー（1）	基本姿勢、把持法、固定、運動、操作方法	実習	眞武
24	シックル型スケーラー（2）	部位別操作法	実習	眞武
25	シックル型スケーラー（3）	部位別操作法	実習	眞武
26	シックル型スケーラー（4）	部位別操作法	実習	眞武
27	シックル型スケーラー（5）	部位別操作法　実技試験説明	実習	眞武
28	歯科衛生介入としての歯科予防処置 キュレット型スケーラー	基本姿勢、把持法、種類、操作方法	実習	眞武
29	キュレット型スケーラー (1)	部位別操作法　マネキン実習	実習	眞武
30	キュレット型スケーラー (2)	部位別操作法	講義	眞武

評価方法							
評価指標	定期試験	実技試験	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	50	50	－	－	－	－	100

教科書	高阪 利美 他　最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第 2 版　医歯薬出版　￥8,200+税
教材・参考図書	荒川 浩久 他 歯科衛生士テキスト　口腔衛生学　－口腔保健統計を含む－ 第 4 版 学建書院 ￥3,000+税 申 基喆 他 最新歯科衛生士教本　歯周病学 第 2 版 医歯薬出版　￥3,500+税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、配布資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行い、教科書を精読する。
担当教員の実務経験	歯科クリニックに 5 年以上従事し、歯科予防処置に関する確かな知識と技能を有する歯科衛生士を講師とし実践的教育を行う。

科目名	歯科予防処置論Ⅰ								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	眞武　郁				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	人々の歯・口腔の健康を維持・増進させることができるよう、口腔の2大疾患である「歯周病」と「う蝕」を予防するために、専門的な知識・技術および態度を習得する。								
到達目標	1. スケーラーの種類とその構造、使用目的が説明できる。 2. スケーラーを操作するための専門的知識と、それを実践できる技術を身につける。 3. 歯面研磨や歯面清掃の意義が説明でき、それに必要な器材の準備が実践でき、またそれを操作する技術を身につける。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	基礎実習オリエンテーション	基礎実習の心得、実習前後の準備、器材提出等	講義	眞武
2	キュレット型スケーラー（3）	基本姿勢、把持法、種類、操作方法	講義	眞武
3	キュレット型スケーラー（4）	部位別操作法　マネキン実習	実習	眞武
4	キュレット型スケーラー（5）	部位別操作法	実習	眞武
5	キュレット型スケーラー（6）	部位別操作法	実習	眞武
6	シャープニング（1）	目的、砥石の種類と管理、方法	実習	眞武
7	シャープニング（2）	シックルスケーラー、キュレット型スケーラー	実習	眞武
8	歯科衛生介入としての歯科予防処置 パワー（機械的）スケーラー	超音波スケーラー、エア（音波）スケーラー	講義	眞武
9	超音波スケーラー フォーハンドテクニック（1）	超音波スケーラー　操作法　相互	実習	眞武
10	超音波スケーラー フォーハンドテクニック（2）	超音波スケーラー　操作法　相互	実習	眞武
11	超音波スケーラー フォーハンドテクニック（3）	超音波スケーラー　操作法　相互	実習	眞武
12	歯面清掃・歯面研磨	歯面研磨（ポリッシング）目的、種類、歯面研磨剤、操作法、注意事項、注意を要する症例	講義	眞武
13	歯面研磨（1）	歯面研磨（ポリッシング）操作法　マネキン	実習	眞武
14	歯面研磨（2）	歯面研磨（ポリッシング）操作法	実習	眞武
15	歯面研磨（3）	歯面研磨（ポリッシング）操作法	実習	眞武
16	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理 歯周組織の観察・記録（1）	歯周ポケットの深さ、クリニカルアタッチメントレベルの測定、出血の有無、歯の動揺度　相互①	実習	眞武
17	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理 歯周組織の観察・記録（2）	歯周ポケットの深さ、クリニカルアタッチメントレベルの測定、出血の有無、歯の動揺度　相互②	実習	眞武
18	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理	歯周ポケットの深さ、クリニカルアタッチメントレベルの測定、出血の有無、歯の動揺度　相互③	実習	眞武

	歯周組織の観察・記録（3）			
19	歯科衛生介入としての歯科予防処置 スケーリング、歯面研磨（1）	３人１組　相互①	実習	眞武
20	スケーリング、歯面研磨（2）	３人１組　相互	実習	眞武
21	スケーリング、歯面研磨（3）	３人１組　相互②	実習	眞武
22	スケーリング、歯面研磨（4）	３人１組　相互	実習	眞武
23	スケーリング、歯面研磨（5）	３人１組　相互③	実習	眞武
24	スケーリング、歯面研磨（6）	３人１組　相互	実習	眞武
25	スケーリング、歯面研磨（7）	スケーリング・歯面研磨（予備含む）	実習	眞武
26	歯科衛生アセスメントとしての情報整理	スケーリング・歯面研磨　まとめ	実習	眞武
27	歯科衛生介入としての歯科予防処置　歯面清掃器（1）	歯面清掃器　エアポリッシャー サブソニックブラシシステム	講義	眞武
28	歯面清掃器（2）	歯面清掃器　エアポリッシャー サブソニックブラシシステム　相互①	実習	眞武
29	歯面清掃器（3）	歯面清掃器　エアポリッシャー サブソニックブラシシステム　相互②	実習	眞武
30	歯科予防処置論Ｉまとめ	後期総まとめ	講義	眞武

評価方法							
評価指標	定期試験	実技試験	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	50	50	－	－	－	－	100

教科書	高阪利美 他　最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第 2 版　医歯薬出版　￥8,200+税
教材・参考図書	申 基喆 他　最新歯科衛生士教本　歯周病学 第 2 版 医歯薬出版　￥3,500+税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、配布資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行い、教科書を精読する。
担当教員の実務経験	歯科クリニックに 5 年以上従事し、歯科予防処置に関する確かな知識と技能を有する歯科衛生士を講師とし実践的教育を行う。

科目名	歯科予防処置論Ⅱ								歯科衛生科
学年	2年	学期	前期	分野	専門	時間数	60時間	単位数	2単位
科目責任者	眞武　郁			科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁				
科目概要	人々の歯・口腔の健康を維持・増進させることができるよう、口腔の2大疾患である「歯周病」と「う蝕」を予防するために、専門的な知識・技術および態度を習得する。								
到達目標	1.　フッ化物応用によるう蝕予防が説明でき、それを実践できる。 2.　う蝕の原因と進行、予防法、う蝕活動性試験について説明できる。 3.　ラバーダム防湿法の概要が説明でき、それを実践できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	基礎実習オリエンテーション	実習心得、実習アシスタント、器材提出確認	講義	眞武
2	歯科衛生介入としての歯科予防処置 フッ化物応用（1）	フッ化物応用によるう蝕予防 フッ化物歯面塗布	講義	眞武
3	フッ化物応用（2）	フッ化物洗口①	講義	眞武
4	フッ化物応用（3）	フッ化物洗口②	演習	眞武
5	フッ化物応用（4）	フッ化物配合歯磨剤	講義	眞武
6	フッ化物応用（5）	フッ化物の毒性と急性中毒への対応、算出法	講義	眞武
7	フッ化物応用（6）	ライフステージ別のフッ化物局所応用	講義	眞武
9	歯科衛生介入としての歯科予防処置 フッ化物歯面塗布法　Ⅰ	相互①フッ化物歯面塗布法（綿球塗布法、歯ブラシ塗布法、イオン導入法、トレー法） 塗布前後の指導、実施上の注意	講義	眞武
10	フッ化物歯面塗布法　Ⅰ	相互①	実習	眞武
11	フッ化物歯面塗布法　Ⅰ	相互②	実習	眞武
12	フッ化物歯面塗布法　Ⅰ	相互③	実習	眞武
13	フッ化物歯面塗布法　Ⅰ	相互④	実習	眞武
14	フッ化物歯面塗布法　Ⅰ	相互⑤	実習	眞武
15	ラバーダム防湿の基礎知識	目的、利点、欠点、器材の用途、手順	講義	眞武
16	ラバーダム防湿(1)	１歯露出　　マネキン	実習	眞武
17	ラバーダム防湿(2)	多数歯露出　マネキン	実習	眞武
18	ラバーダム防湿(3)	相互①	実習	眞武
19	ラバーダム防湿(4)	相互②	実習	眞武
20	ラバーダム防湿(5)	相互③	実習	眞武
21	ラバーダム防湿(6)	相互④	実習	眞武
22	ラバーダム防湿(7)	相互⑤	実習	眞武

23	ラバーダム防湿(8)	相互⑥	実習	眞武
24	口腔の器質的問題の把握 舌・口臭	舌苔の所見と疾患・原因、舌苔スコア（TCI）とは 口臭症の分類、官能検査、口臭測定器	講義	眞武
25	口臭	口臭の検査	実習	眞武
26	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理 歯周病に関する検査	唾液などを検体とする検査	実習	眞武
27	う蝕に関する検査	う蝕活動性試験①	実習	眞武
28	カリエスリスク・テスト(1)	う蝕活動性試験②	実習	眞武
29	カリエスリスク・テスト(2)	う蝕活動性試験③	実習	眞武
30	歯科予防処置論Ⅱまとめ	前期総まとめ	講義	眞武

評価方法							
評価指標	定期試験	実技試験	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	50	50	－	－	－	－	100

教科書	高阪 利美 他　最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第２版　医歯薬出版　￥8,200+税
教材・参考図書	荒川 浩久 他 歯科衛生士テキスト　口腔衛生学　-口腔保健統計を含む- 第 4 版 学建書院 ￥3,000+税 合場 千佳子 他 最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論 第２版　医歯薬出版　￥6,000+税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、配布資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行い、教科書を精読する。

科目名	歯科予防処置論Ⅱ								歯科衛生科
学年	2年	学期	後期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	眞武　郁				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	人々の歯・口腔の健康を維持・増進させることができるよう、口腔の2大疾患である「歯周病」と「う蝕」を予防するために、専門的な知識・技術および態度を習得する。								
到達目標	1. PMTCの意義が説明でき、それに必要な器材の準備や術式を理解し、それを実践する能力を身につける。 2. 小窩裂溝填塞法の意義が説明でき、それに必要な器材の準備や術式を理解し、それを実践する能力を身につける。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	基礎実習オリエンテーション	実習心得、実習アシスタント、器材提出確認	講義	眞武
2	歯科衛生介入としての歯科予防処置　PMTC	PTC,PMTCの定義、操作手順（エバチップ） 歯面研磨剤、臨床における注意事項、施術中事故等	講義	眞武
3	PMTC（1）	相互①	実習	眞武
4	PMTC（2）	相互②	実習	眞武
5	PMTC（3）	相互③	実習	眞武
6	PMTC（4）	相互④	実習	眞武
7	PMTC（5）	相互⑤	実習	眞武
8	PMTC（6）	相互⑥	実習	眞武
9	歯科衛生介入としての歯科予防処置 小窩裂溝填塞法	小窩裂溝填塞法（フィッシャーシーラント）適応症 種類と特徴、術式、器具・薬剤の取扱いと管理方法 填塞後の指導、臨床における注意事項	講義	眞武
10	小窩裂溝填塞法（1）	相互①	実習	眞武
11	小窩裂溝填塞法（2）	相互②	実習	眞武
12	小窩裂溝填塞法（3）	相互③	実習	眞武
13	小窩裂溝填塞法（4）	相互④	実習	眞武
14	小窩裂溝填塞法（5）	相互⑤	実習	眞武
15	小窩裂溝填塞法（6）	相互⑥	実習	眞武

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	高阪 利美 他　最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版　医歯薬出版　￥8,200+税
教材・参考図書	合場 千佳子 他 最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論 第2版　医歯薬出版　￥6,000+税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、配布資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行い、教科書を精読する。

科目名	歯科予防処置論Ⅲ								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	専門	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	眞武　郁				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	人々の歯・口腔の健康を維持・増進させることができるよう、口腔の2大疾患である「歯周病」と「う蝕」を予防するために、専門的な知識・技術および態度を習得する。								
到達目標	既習した内容の復習において理解を深め、適切な歯科予防処置について説明できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	総論	歯科予防処置の法的位置づけ、 歯・歯周組織の検査と評価、プロービング、BOP、GBI、アタッチメントレベル、根分岐部病変の有無と程度	講義	眞武
2	PMTC（1）	相互①	実習	眞武
3	PMTC（2）	相互②	実習	眞武
4	PMTC（3）	相互③	実習	眞武
5	歯周病予防処置	スケーリング・ルートプレーニング（シックル・キュレット） 超音波・エアスケーラー、シャープニング	講義	眞武
6	う蝕予防処置（1）	う蝕活動性試験、フッ化物歯面塗布 フッ化物洗口、フッ化物配合歯磨剤	講義	眞武
7	う蝕予防処置（2）	ライフステージに応じたフッ化物応用 悪心・嘔吐発現フッ化物溶出量の算出法	講義	眞武
8	う蝕予防処置（3）	小窩裂溝填塞法、メインテナンス	講義	眞武

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	高阪 利美 他　最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版　医歯薬出版　￥8,200+税
教材・参考図書	合場 千佳子 他 最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論 第2版　医歯薬出版　￥6,000+税 荒川 浩久 他 歯科衛生士テキスト　口腔衛生学　-口腔保健統計を含む-　第 4 版 学建書院 ￥3,000+税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、配布資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行い、教科書を精読する。

科目名	栄養指導								歯科衛生科
学年	3年	学期	前期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	谷口　邦久				科目担当者	谷口　邦久			
科目概要	人びとの健康を維持・増進するために重要な栄養・食生活を理解するために、栄養と食生活に関する基本的知識を修得する。								
到達目標	1.　栄養の基礎知識、食事摂取基準、栄養素の働きについて理解する。 2.　食品の分類ができる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	栄養の基礎知識（1）	食生活と栄養	講義	谷口
2	栄養の基礎知識（2）	栄養素の消化・吸収	講義	谷口
3	食事摂取基準（1）	食物のエネルギー、基礎代謝、エネルギー必要量	講義	谷口
4	食事摂取基準（2）	日本人の食事摂取基準、食生活指導 食事バランスガイド	講義	谷口
5	栄養素の働き（1）	糖質、タンパク質	講義	谷口
6	栄養素の働き（2）	脂質、ビタミン	講義	谷口
7	栄養素の働き（3）	ミネラル、水・食物繊維の栄養的意味、	講義	谷口
8	食生活と健康（1）	国民の健康と栄養の現状	講義	谷口
9	食生活と健康（2）	望ましい食生活	講義	谷口
10	ライフステージ別の栄養と調理（1）	妊産婦、新生児期、乳児期	講義	谷口
11	ライフステージ別の栄養と調理（2）	幼児期、学齢期	講義	谷口
12	ライフステージ別の栄養と調理（3）	青年期、成人期	講義	谷口
13	ライフステージ別の栄養と調理（4）	成人期、老年期	講義	谷口
14	ライフステージ別の栄養と調理（5）	老年期	講義	谷口
15	食べ物と健康	食品の成分と分類、食べ物の物性	講義	谷口

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	高橋 信博 他　最新歯科衛生士教本　人体の構造と機能２　栄養と代謝　第1版　医歯薬出版　￥3,500+税
教材・参考図書	高阪 利美 他 最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版　医歯薬出版
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科保健指導論Ⅰ								歯科衛生科
学年	1年	学期	前期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	貴島　聡子				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	健康と疾病の概念を理解し、科学的根拠に基づいた歯科衛生過程を用いて、各ライフステージや地域に応じた歯科保健活動をするために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる専門的知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1.　歯科保健指導の概要が説明できる。 2.　口腔衛生管理に関わる指導を実施するために、専門的な知識・技術および態度を修得する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	総論 歯科保健指導論の概要	歯科保健指導論の意義と目的　a.個人対象 b.集団対象 健康の概念、健康日本21	講義	貴島
2	総論 歯科保健指導・健康教育の進め方	健康教育の進め方、8020達成型社会イメージ図 健康教育の方法	講義	貴島
3	口腔の観察　指数(1)	う蝕罹患状況（DMF)、DMF指数、DMF率を算出する	講義	貴島
4	口腔の観察　指数(2) 歯肉を表す指数（PMA) 0’Learyのプラークコントロールレコード	歯肉を表す指数（PMA)、健康な歯肉・病的な歯肉の臨床的特徴、PMAの観察部位、PMAを算出する 0’Learyのプラークコントロールレコードの観察部位、 0’Learyのプラークコントロールレコードを正しく算出する	講義	貴島
5	歯科衛生介入としての歯科保健指導　　歯ブラシ	自然的清掃法、人工的清掃法、手術的清掃法、化学的清掃法 歯ブラシ各部の名称、歯ブラシの選択基準 歯ブラシの使用後の管理	講義	貴島
6	歯磨剤	歯磨剤の特徴、歯磨剤の成分による分類 歯磨剤に添加される薬用成分の効果	講義	貴島
7	音波ブラシ	音波ブラシの特徴、音波ブラシの効果	講義	貴島
8	歯ブラシの持ち方 ブラッシング法(1)	歯ブラシの持ち方、毛先を使用するブラッシング法 各種ブラッシング法の適応症、誤ったブラッシングの弊害	講義	貴島
9	歯ブラシの持ち方 ブラッシング法(2)	歯ブラシの持ち方、脇腹を使用するブラッシング法 各種ブラッシング法の適応症、誤ったブラッシングの弊害	講義	貴島
10	補助的清掃用具	歯間部清掃用具の種類・使用法・効果	講義	貴島
11	洗口液・洗口剤	化学的プラークコントロールの意義 洗口剤の種類・使用方法・薬用成分	講義	貴島
12	保健行動の支援(1)	行動変容に関連する理論	講義	貴島
13	保健行動の支援(2)	行動変容の手法 ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ	講義	貴島
14	ライフステージに対応した歯科衛生介入（1)	妊産婦期	講義	貴島
15	ライフステージに対応した歯科衛生介入（2)	新生児期・乳児期	講義	貴島

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	60	30	10	－	－	－	100

教科書	高阪 利美 他 最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第２版　医歯薬出版　￥8,200+税
教材・参考図書	荒川 浩久 他 歯科衛生士テキスト　口腔衛生学　-口腔保健統計を含む- 第 4 版 学建書院 ￥3,000+税 可児 徳子 他 最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み１　保健生態学 第３版 医歯薬出版 ￥5,600+税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科保健指導論Ⅰ								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	貴島　聡子				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	健康と疾病の概念を理解し、科学的根拠に基づいた歯科衛生過程を用いて、各ライフステージや地域に応じた歯科保健活動をするために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる専門的知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1.　各ライフステージや、配慮を要する者に対応した歯科保健指導や食生活指導が理解できる。 2.　口腔衛生状態や口腔機能の評価について理解できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	ライフステージに対応した歯科衛生介入（3）	幼児期	講義	貴島
2	ライフステージに対応した歯科衛生介入（4）	学齢期	講義	貴島
3	ライフステージに対応した歯科衛生介入（5）	青年期	講義	貴島
4	ライフステージに対応した歯科衛生介入（6）	成人期	講義	貴島
5	食生活指導のための基礎知識（1）	酸蝕症と食生活,tooth wear の予防	講義	貴島
6	食生活指導のための基礎知識（2）	老年期	講義	貴島
7	歯科衛生介入としての歯科保健指導（1）	口腔機能低下症・口腔機能発達不全症 口腔機能管理に関わる指導　口唇閉鎖力、舌圧 口輪筋トレーニング器具、抵抗訓練器具	講義	貴島
8	口腔の観察	口腔衛生状況の指数　OHI,OHI-S,PHP,各種指数の最大値	講義	貴島
9	歯科衛生介入としての歯科保健指導（2）	喫煙者に対する指導（1）	講義	貴島
10	歯科衛生介入としての歯科保健指導（3）	喫煙者に対する指導（2）	講義	貴島
11	歯科衛生介入としての歯科保健指導（4）	ストレスマネジメント	講義	貴島
12	配慮を要する者への歯科衛生介入（1）	要介護高齢者	講義	貴島
13	配慮を要する者への歯科衛生介入（2）	障害児者	講義	貴島
14	配慮を要する者への歯科衛生介入（3）	大規模災害被災者	講義	貴島
15	歯科保健指導論Ⅰまとめ	総まとめ	講義	貴島

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	60	20	20	－	－	－	100

教科書	高阪 利美 他 最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版　医歯薬出版　￥8,200+税 合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版　医歯薬出版　￥6,000+税
教材・参考図書	荒川 浩久 他 歯科衛生士テキスト　口腔衛生学　-口腔保健統計を含む- 第 4 版 学建書院 ￥3,000+税

オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科保健指導論Ⅱ								歯科衛生科
学年	前期	学期	2年	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	貴島　聡子				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	健康と疾病の概念を理解し、科学的根拠に基づいた歯科衛生過程を用いて、各ライフステージや地域に応じた歯科保健活動をするために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる専門的知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1.　健康教育の要点が理解できる。 2.　個人に対する患者指導用の媒体作成ができ、それを使用した歯科保健指導が実践できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	健康教育の要点	健康教育の推進、健康教育の進め方、健康教育の方法 a.受動的・能動的な方法　b.媒体（教材）の活用 健康教育の評価	講義	貴島
2	健康教育　個人指導	個人指導用チャート作成①　う蝕、歯周病等	演習	貴島
3	生活習慣の指導（1）	非感染性疾患（NCDs）（1）	演習	貴島
4	生活習慣の指導（2）	非感染性疾患（NCDs）（2）	演習	貴島
5	生活習慣の指導（3）	媒体作成②	演習	貴島
6	生活習慣の指導（4）	媒体作成③	演習	貴島
7	生活習慣の指導（5）	媒体作成④	講義	貴島
8	生活習慣の指導（6）	媒体作成⑤	講義	貴島
9	健康教育　個人指導（1）	個人指導用チャート①　発表　評価	演習	貴島
10	健康教育　個人指導（2）	個人指導用チャート②　発表　評価	演習	貴島
11	健康教育　個人指導（3）	個人指導用チャート③　発表　評価	実習	貴島
12	健康教育　個人指導（4）	個人指導デンタルノート作成	講義	貴島
13	健康教育　個人指導（5）	相互①歯周基本検査,PCR,保健指導,個人指導	実習	貴島
14	健康教育　個人指導（6）	相互②	実習	貴島
15	健康教育　個人指導（7）	相互③	実習	貴島

評価方法							
評価指標	レポート	小テスト	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	高阪 利美 他 最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版　医歯薬出版　￥8,200+税
教材・参考図書	可児 徳子 他 新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1　保健生態学 第3版 医歯薬出版 ￥5,600+税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。
担当教員の実務経験	歯科クリニックに5年以上従事し、歯科保健指導に関する確かな知識と技能を有する歯科衛生士を講師とし実践的教育を行う。

科目名	歯科保健指導論Ⅱ								歯科衛生科
学年	2年	学期	後期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	貴島　聡子				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	健康と疾病の概念を理解し、科学的根拠に基づいた歯科衛生過程を用いて、各ライフステージや地域に応じた歯科保健活動をするために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる専門的知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1. 地域歯科保健活動の概要が理解でき、対象に合った指導用媒体の作成ができる。 2. グループワークにおいて、自分の考えを適切に表出でき、かつ協調性を持ちグループワークを円滑に進めることができる。 3. 健康教育の計画立案ができ、健康教育の内容を説明できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	地域歯科保健活動（1）	学習指導案作成、健康教育のポイント	演習	貴島
2	地域歯科保健活動（2）	集団指導　媒体（教材）作成	演習	貴島
3	ライフステージに対応した歯科衛生介入	健康教育の対象と場の特徴 健康教育に必要な情報収集	演習	貴島
4	ライフステージに対応した歯科衛生介入	グループディスカッション　スライド作成	演習	貴島
5	地域歯科保健活動（3）	集団指導　媒体（教材）作成	演習	貴島
6	地域歯科保健活動（4）	集団指導　媒体（教材）作成	演習	貴島
7	地域歯科保健活動（5）	集団指導　媒体（教材）作成	演習	貴島
8	ライフステージに対応した歯科衛生介入	グループディスカッション　スライド作成	演習	貴島
9	ライフステージに対応した歯科衛生介入	グループディスカッション　スライド作成	演習	貴島
10	ライフステージに対応した歯科衛生介入	グループディスカッション　スライド作成	演習	貴島
11	ライフステージに対応した歯科衛生介入	グループディスカッション　スライド作成	演習	貴島
12	ライフステージに対応した歯科衛生介入	スライド発表	演習	貴島
13	ライフステージに対応した歯科衛生介入	スライド発表	演習	貴島
14	地域歯科保健活動（6）	集団指導　健康教育　発表会	演習	貴島
15	地域歯科保健活動（7）	集団指導　健康教育　発表会	演習	貴島

評価方法							
評価指標	レポート	－	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	高阪 利美 他 最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版　医歯薬出版　￥8,200+税
教材・参考図書	荒川 浩久 他 歯科衛生士テキスト　口腔衛生学　－口腔保健統計を含む－ 第 4 版 学建書院 ￥3,000+税 可児 徳子 他 新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み１　保健生態学 第3版 医歯薬出版 ￥5,600+税

オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。
担当教員の実務経験	歯科クリニックに５年以上従事し、歯科保健指導に関する確かな知識と技能を有する歯科衛生士を講師とし実践的教育を行う。

科目名	歯科保健指導論Ⅲ								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	専門	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	貴島　聡子				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	健康と疾病の概念を理解し、科学的根拠に基づいた歯科衛生過程を用いて、各ライフステージや地域に応じた歯科保健活動をするために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる専門的知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1.　歯科衛生過程について説明できる。 2.　摂食嚥下障害について理解できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	歯科衛生過程の進め方（1）	歯科衛生過程の６つの構成要素	講義	貴島
2	歯科衛生過程の進め方（2）	症例検討　グループディスカッション	演習	貴島
3	歯科衛生過程の進め方（3）	グループごとに発表、まとめ	演習	貴島
4	ライフステージに対応した歯科衛生介入(1)	妊産婦期、乳児期、幼児期、学齢期	講義	貴島
5	ライフステージに対応した歯科衛生介入(2)	青年期、成人期、老年期	講義	貴島
6	歯科衛生介入としての歯科保健指導(3)	喫煙者に対する指導	講義	貴島
7	摂食嚥下障害と栄養	嚥下調整食分類2013コード、とろみ、粘度の性状	講義 演習	貴島
8	配慮を要する者への歯科衛生介入	要介護高齢者、障害児者、大規模災害被災者	講義	貴島

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	高阪 利美 他 最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版　医歯薬出版　￥8,200+税
教材・参考図書	可児 徳子 他 最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み１　保健生態学 第3版 医歯薬出版 ￥5,600+税 植田 耕一郎 他　歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション　第 2 版　医歯薬出版 ￥3,800+税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科材料								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	田淵　弘太郎				科目担当者	田淵　弘太郎			
科目概要	歯科材料を扱う場合は、安全性や特性、成分、取扱いなどを十分に熟知しておく必要がある。本講義では歯科材料を分類し、それぞれの特性および使用用途について講義する。								
到達目標	1.歯科を安全性、特性、成分、取扱いについて説明できる。 2.歯科材料の適切な保管方法について説明できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	歯科材料の基礎知識(1)	歯科材料の所要性質	講義	田淵
2	歯科材料の基礎知識(2)	単位系、機械的・物理的	講義	田淵
3	歯科材料の基礎知識(3)	化学的・生物的性質	講義	田淵
4	歯科衛生にかかわる材料	歯面研磨剤、小窩裂溝塡塞材、主な口腔清掃用具	講義	田淵
5	印象剤	印象剤の種類と用途、組成と特徴、一般的性質	講義	田淵
6	模型用材料	石膏の種類と用途、一般的性質	講義	田淵
7	合着剤・接着材	合着剤、接着剤の種類と用途、一般的性質	講義	田淵
8	成型修復剤	成型修復剤の種類と用途、成型修復剤の特徴	講義	田淵
9	仮封材	仮封材の種類と用途	講義	田淵
10	暫間修復剤と仮着用ｾﾒﾝﾄ	暫間修復剤の用途、種類。仮着ｾﾒﾝﾄの種類と性質	講義	田淵
11	ワックス	ワックスの種類と用途	講義	田淵
12	金属	金属と合金、金属の用途、金属の種類	講義	田淵
13	セラミック	ｾﾗﾐｯｸｽの用途、歯冠修復用ｾﾗﾐｯｸｽの分類、種類	講義	田淵
14	その他の歯科材料(1)	小児歯科にかかわる材料	講義	田淵
15	その他の歯科材料(2)	歯科矯正にかかわる材料、歯科補綴にかかわる材料	講義	田淵

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	80	10	10	－	－	－	100

教科書	末瀬 一彦 他　最新歯科衛生士教本　歯科材料　第1版　医歯薬出版　￥3,500＋税
教材・参考図書	適宜紹介する
オフィスアワー	授業前後
履修上の注意点	各授業後には指示したレポート作成や復習を必ず行うこと。また、授業の8回目終了後に中間試験、15回目の終了後に期末試験を実施する。

科目名	歯科機器								歯科衛生科
学年	2年	学期	前期	分野	専門	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	田頭　美穂				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	患者に安心,安全な治療を遂行するために、歯科機器の名称、形態などを把握し、それぞれの機器の用途を正しく理解する。さらに医療事故を未然に防ぐために取り扱いの諸注意を理解する。								
到達目標	1.　予防処置などの診療行為において歯科機器の正しい使用法を理解する。 2.　歯科診療補助において歯科医師との連携を図るために機器の特徴や構造を理解する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	歯科診療における機器の概説 一般診療用機器	歯科機器の管理と整理 ユニット周辺の大型機器,マイクロスコープ	講義	貴島
2	歯科衛生にかかわる機器	口腔清掃用機器,口腔洗浄器,歯面清掃器	講義	貴島
3	検査・診断・治療用機器(1)	全身管理用機器,測定値の見方 麻酔用機器,救急救命機器	講義	田頭
4	検査・診断・治療用機器(2)	歯および口腔検査用機器,口腔機能検査用機器	講義	貴島
5	検査・診断・治療用機器(3)	切削用機器,成形修復用機器,歯内療法用機器	講義	眞武
6	検査・診断・治療用機器(4)	歯周治療用機器,口腔外科用機器	講義	田頭
7	検査・診断・治療用機器(5)	矯正歯科用機器,小児歯科用機器	講義	眞武
8	検査・診断・治療用機器(6)	インプラント治療に関連する機器,歯科訪問用機器,歯科技工用機器	講義	田頭

評価方法							
評価指標	定期試験	レポート	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	末瀬　一彦 他　最新歯科衛生士教本　歯科機器　第1版　医歯薬出版　￥3,200＋税
教材・参考図書	合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版　医歯薬出版　￥6,000＋税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	摂食嚥下リハビリテーション								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	専門	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	貴島　聡子				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	歯科衛生士と摂食・嚥下の関わりについて認識し、リハビリテーション及び摂食嚥下リハビリテーションの概念やメカニズムを正しく理解したうえで、歯科衛生士の実践についての考え方や訓練法の実際、連携に必要な関係職種の理解など、摂食嚥下リハビリテーションに関する基礎的知識を修得する。								
到達目標	1.　摂食嚥下の一連の動作を理解する。 2.　摂食嚥下障害の概要と摂食嚥下訓練の基礎を学ぶ。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	摂食嚥下機能のメカニズム	摂食嚥下に関わる構造（解剖）と機能（生理）	講義	貴島
2	発達期の摂食嚥下機能	口腔と咽頭領域の形態成長と機能発達の関連	講義	眞武
3	咬合および咀嚼機能の管理と評価 オーラルフレイル	義歯とPAP,PLP 咀嚼・嚥下の評価と管理 オーラルフレイル,口腔機能低下症	講義	田頭
4	病態別摂食嚥下障害	発達期・成人期・老年期の摂食嚥下障害	講義	眞武
5	リスクマネジメント	全身状態の把握と対応,緊急時の対応, 気管切開,吸引	講義	田頭
6	摂食嚥下の評価	スクリーニング検査	講義	貴島
7	摂食嚥下訓練(1)間接訓練	間接訓練の選択と実施	講義	眞武
8	摂食嚥下訓練(2)直接訓練	直接訓練の選択と実施 摂食嚥下障害に対する食事指導	講義	貴島

評価方法

評価指標	定期試験	－	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	植田 耕一郎 他　歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション　第2版　医歯薬出版　￥3,800＋税
教材・参考図書	植田 耕一郎 他　最新歯科衛生士教本　高齢者歯科　第2版　医歯薬出版　￥2,600＋税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、配布資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行い、教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科診療補助論Ⅰ								歯科衛生科
学年	1年	学期	前期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	田頭　美穂				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、それを実践するために、専門的な知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1. 歯科診療補助の概念と、医療安全について理解する。 2. アルジネート印象材による印象採得法と模型作製が理解する。 3. 歯科ユニットの構成について理解する。 4. 歯科診療室における患者対応と、診療時の共同動作について理解する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	歯科診療補助の概念	歯科診療補助の範囲と業務，歯科衛生士法第2条	講義	田頭
2	アルジネート印象材 歯科用石膏の基礎知識	特徴、印象採得手順、嘔吐反射時の対応、練和法、印象面の処理、歯科用石膏の練和・注入・保管方法、廃棄法	講義	田頭
3	アルジネート印象材練和	練和（ペースト状）	実習	田頭
4	アルジネート印象材練和	計量、練和（粉末状）、上・下顎トレー	実習	田頭
5	アルジネート印象材練和	模型上にて上・下顎印象採得、実技試験内容説明	実習	田頭
6	医療安全	ハインリッヒの法則,インシデント・アクシデント報告の目的,偶発事故や緊急時の対応の選択,AEDの取り扱い	講義	田頭
7	感染予防(1)	スタンダードプレコーション,感染経路別予防策,歯科用器材の感染対策分類,個人防護具,感染事故時の対応	講義	田頭
8	感染予防(2)	手指衛生の分類,グローブの装着・着脱の手順, 個人防護具（PPE）の着脱方法	講義 演習	田頭
9	滅菌と消毒(1)	消毒・滅菌・洗浄の定義,消毒・滅菌の種類と効能,消毒薬の種類・用途および濃度,消毒薬の抗微生物のスペクトル	講義	田頭
10	滅菌と消毒(2)	滅菌法　a.高圧蒸気滅菌法　b.エチレンオキサイドガス c.低温プラズマ滅菌　d.乾熱滅菌、 消毒・滅菌済み器材の管理	講義	田頭
11	滅菌と消毒(3) 医療廃棄物の取扱い	歯科用器材の滅菌・消毒と管理 バイオハザードマーク,感染性廃棄物の分別	講義	田頭
12	歯科診療室の環境、設備	歯科用ユニットの各部名称・用途,口腔外バキューム,	講義 実習	田頭
13	患者への対応	一般的対応,配慮を要する者への対応 a.高齢者　b.妊産婦　c.通院困難者　d.小児	講義	田頭
14	診療時の共同動作(1)	術者・補助者・患者の位置と姿勢（照明・ライティング）	講義	田頭
15	手指消毒	手指消毒、手洗いチェッカー、グローブの装着・着脱 PPE着脱手順	実習	田頭

評価方法

評価指標	定期試験	実技試験	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	50	50	－	－	－	－	100

教科書	合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第２版　医歯薬出版　￥6,000+税 栢 豪洋 他　歯科衛生士のための最新歯科用語辞典　第１版　クインテッセンス出版　￥3,500+税
教材・参考図書	末瀬 一彦 他　最新歯科衛生士教本　歯科材料　第１版　医歯薬出版　￥3,500+税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科診療補助論Ⅰ								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	田頭　美穂					科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁		
科目概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、それを実践するために、専門的な知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1.　診療時の適切な感染対策と、共同動作が実践できる。 2.　歯科用セメントの種類や用途が理解でき、その操作法が実践できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	実習オリエンテーション	実習心得、実習アシスタント、器材提出等	講義	田頭
2	診療時の共同動作(2)	バキュームテクニック,フォーハンド	実習	田頭
3	バキュームテクニック(1)	バキュームテクニック,フォーハンド,綿球,ロールワッテ 相互実習	講義	田頭
4	バキュームテクニック(2)	バキュームテクニック,フォーハンド 相互実習	講義	田頭
5	バキュームテクニック(3)	バキュームテクニック,フォーハンド	実習	田頭
6	バキュームテクニック(4)	バキュームテクニック,フォーハンド	実習	田頭
7	バキュームテクニック(5)	バキュームテクニック,フォーハンド	実習	田頭
8	バキュームテクニック(6)	バキュームテクニック,フォーハンド	実習	田頭
9	合着材・仮着材の基礎	合着材・接着材の種類と使用方法 余剰セメント除去 合着・接着時に患者に説明しておくべき事項 ポリカルボキシレートセメント リン酸亜鉛セメント 酸化亜鉛ユージノールセメント	講義	田頭
10	合着材・仮着材の基礎	合着材・接着材の種類と使用方法 余剰セメントの除去 合着・接着時に患者に説明しておくべき事項 ポリカルボキシレートセメント リン酸亜鉛セメント 酸化亜鉛ユージノールセメント	実習	田頭
11	合着・接着の補助①	ポリカルボキシレートセメント グラスアイオノマーセメント（レジン添加型）	講義	田頭
12	合着・接着の補助② 仮封の補助	リン酸亜鉛セメント 酸化亜鉛ユージノールセメント	実習	田頭
13	合着・接着の補助③	接着性レジンセメント（コンポジットレジン系）	実習	田頭
14	合着・接着の補助④	接着性レジンセメント（MMA系）	実習	田頭
15	歯科診療補助Ⅰまとめ	まとめ	講義	田頭

評価方法							
評価指標	定期試験	実技試験	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	50	50	－	－	－	－	100

教科書	合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版　医歯薬出版　￥6,000+税

教材・参考図書	末瀬 一彦 他　最新歯科衛生士教本　歯科材料　第１版　医歯薬出版　￥3,500+税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、配布資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行い、教科書を精読する。

科目名	歯科診療補助論Ⅱ							歯科衛生科
学年	2年	学期	前期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	2単位
科目責任者	田頭　美穂			科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、それを実践するために、専門的な知識・技術および態度を修得する。							
到達目標	1.　アルジネート印象材による印象採得法と模型作製が実践できる。 2.　精密印象採得について理解できる。 3.　仮封材の使用法と取扱いが理解できる。							

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	模型の作製	歯科用石膏の基礎知識、歯科用石膏の練和 スタディモデルの作成手順、嘔吐反射の対応法 石膏模型の処理法	講義	田頭
2	スタディモデルの作成① 手順のデモ説明	アルジネート印象材による概形印象採得 咬合採得、バイトワックス、印象材の消毒	実習	田頭
3	スタディモデルの作成②	相互実習3人1組　1人目	実習	田頭
4	スタディモデルの作成③	相互実習3人1組　1人目	実習	田頭
5	スタディモデルの作成④	相互実習3人1組　2人目	実習	田頭
6	スタディモデルの作成⑤	相互実習3人1組　2人目	実習	田頭
7	スタディモデルの作成⑥	相互実習3人1組　3人目	実習	田頭
8	スタディモデルの作成⑦	相互実習3人1組　3人目	実習	田頭
9	寒天印象採得の補助	寒天-アルジネート連合印象　手順説明　2人1組	実習	田頭
10	寒天印象採得の補助	寒天-アルジネート連合印象　2人1組	実習	田頭
11	合成ゴム質印象の補助	シリコーンゴム印象材による精密印象採得	実習	田頭
12	合成ゴム質印象の補助	シリコーンゴム印象材による精密印象採得	実習	田頭
13	仮封・仮着の補助①	水硬性仮封材、仮封用軟質レジンの取り扱い パステクニック	実習	田頭
14	仮封・仮着の補助②	テンポラリーストッピングの取り扱い サンダラックバーニッシュの取り扱い	実習	田頭
15	衛生材料の作成	綿球・ロールワッテ・ブローチに綿栓を準備する	実習	田頭

評価方法

評価指標	定期試験	レポート	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	70	30	－	－	－	－	100

教科書	合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版　医歯薬出版　￥6,000+税 栢 豪洋 他　歯科衛生士のための最新歯科用語辞典　第1版　クインテッセンス出版　￥3,500+税
教材・参考図書	岩田 隆紀 他　歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック　第1版　クインテッセンス出版
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科診療補助論Ⅱ								歯科衛生科
学年	2年	学期	後期	分野	専門	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	田頭　美穂				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、それを実践するために、専門的な知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1. 歯科に必要な生体検査および口腔領域の検査が理解できる。 2. 口腔外科、保存修復、補綴治療時の診療補助について理解できる。 3. ラバーダム防湿が実践できる。 4. 口腔内写真撮影が実践できる。 5. 一次救命処置について理解できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	歯科領域に必要な臨床検査	生体検査、口腔領域の検査	実習	田頭
2	歯科領域に必要な臨床検査	生体検査、口腔領域の検査	実習	田頭
3	口腔外科治療時の診療補助	抜歯鉗子（抜歯の手順）の準備,注射器の準備	実習	田頭
4	口腔外科治療時の診療補助	メスの準備,縫合の準備	実習	田頭
5	ラバーダム防湿の基礎知識	目的、利点、欠点、器材の用途、手順	講義	田頭
6	ラバーダム防湿(1)	１歯露出	実習	田頭
7	ラバーダム防湿(2)	多数歯露出	実習	田頭
8	口腔内写真撮影	５枚法撮影①	実習	田頭
9	口腔内写真撮影	５枚法撮影②	実習	田頭
10	保存修復時の診療補助	隔壁法	実習	田頭
11	保存修復時の診療補助	成形歯冠修復	実習	田頭
12	災害支援	防災体験	実習	田頭
13	救命救急処置	一次救命処置(BLS)のアルゴリズム 心肺蘇生、自動体外式除細動器（AED）	実習	田頭
14	補綴治療時の診療補助	プロビジョナルレストレーションに用いる器材準備と取扱い	実習	田頭
15	補綴治療時の診療補助	プロビジョナルレストレーションの製作	実習	田頭

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	50	50	－	－	－	－	100

教科書	合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第２版　医歯薬出版　￥6,000+税 井上 孝 他　最新歯科衛生士教本　臨床検査　第１版　医歯薬出版　￥2,200＋税 栢 豪洋 他　歯科衛生士のための最新歯科用語辞典　第１版　クインテッセンス出版　￥3,500+税
教材・参考図書	岩田 隆紀 他　歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック　第 1 版　クインテッセンス出版　￥3,300+税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。

履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。
担当教員の実務経験	歯科クリニックに5年以上従事し、歯科保健指導に関する確かな知識と技能を有する歯科衛生士を講師とし実践的教育を行う。

科目名	歯科診療補助論Ⅲ								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	専門	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	田頭　美穂				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、それを実践するために、専門的な知識・技術および態度を修得する。								
到達目標	1. ホワイトニングの手順に沿った器材の準備や、術式が説明できる。 2. 周術期における口腔機能管理と、歯科衛生士の役割が説明できる。 3. 口腔機能低下症の検査、および評価とその対応法が説明できる。 4. 摂食嚥下リハビリテーションの訓練的対応について説明できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	歯の漂白	漂白法の種類と器材の準備 有髄歯・無髄歯の漂白、治療後の注意	講義	田頭
2	口腔外科治療時の歯科診療補助　患者管理	周術期の口腔健康管理　a.外来患者　b.入院患者	講義	田頭
3	口腔機能管理	配慮を要する者への指導 a.　全身疾患を有する者（周術期の対応含む） b.　緩和ケア・ターミナルケア	講義	田頭
4	口腔機能管理	食事環境・食物形態、摂食介助法、食事の観察	講義	田頭
5	口腔機能管理	口腔機能低下症、オーラルフレイル 口腔機能発達不全症	講義	田頭
6	摂食嚥下の評価 口腔機能管理	RSST,改訂水飲みテスト,FT,頸部聴診,咳テスト 口腔機能低下症の検査①	実習	田頭
7	口腔機能管理	口腔機能低下症の検査②	実習	田頭
8	口腔機能管理	嚥下機能訓練、間接訓練、直接訓練	講義 演習	田頭

評価方法							
評価指標	定期試験	－	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版　医歯薬出版　￥6,000+税 井上 孝 他　最新歯科衛生士教本　臨床検査　第1版　医歯薬出版　￥2,200＋税
教材・参考図書	植田 耕一郎 他　歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション　第 2 版　医歯薬出版　￥3,800+税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、配布資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行い、教科書を精読する。

科目名	臨地実習Ⅰ								歯科衛生科
学年	2年	学期	後期	分野	専門	時間数	360時間	単位数	8単位
科目責任者	田頭　美穂				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	歯科診療所での歯科衛生士の役割を理解し、常に向上心を持った態度と、良好なコミュニケーションを取ることができる能力を身につける。医療人としての自覚と責任を持ち、歯科衛生士に求められる歯科保健活動が実践できる。								
到達目標	1.　医療人としての身だしなみと態度を身につけ、実習先の規則、対象者の守秘義務を遵守できる。 2.　診療室での歯科衛生士の役割を理解し、共同動作、歯科衛生業務の流れを理解する。 3.　スタンダードプレコーションが実践できる。 4.　医療廃棄物の取扱いが理解できる。								

	実習場所	授業内容	形態	担当教員
	歯科診療所	実　習　期　間：令和6年9月9日～令和7年1月29日（45日間） 実　習　時　間：8:00～17:00（実習時間8時間） 実　　習　　先：歯科診療所 実　習　方　法：実習前にオリエンテーションを実施する。その後、学生2～3名を1組とし、学外実習を行う。 実習先が休診の場合は、学内にて自学学習を行う。 実習の詳細：歯科診療所での実習後に、臨床実習帳に記載する。 記載後は、速やかに実習先の指導者に見てもらい押印してもらう。	実習	貴島 田頭 眞武

評価方法							
評価指標	外部評価	レポート	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	50	50	－	－	－	－	100

教科書	実習内容、実習先の対象者に応じて必要なもの。 岩田隆紀他　歯科衛生士・歯科助手おしごとハンドブック　第1版　クインテッセンス出版　￥3,300+税 井上孝他　最新歯科衛生士教本　臨床検査　第1版　医歯薬出版　￥2,200＋税
教材・参考図書	適宜
オフィスアワー	実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	・歯科診療所での実習となるため、自己の健康管理に努めること。 ・既習した全領域の学習が必要なため、自己にて学習を進めること。 ・自己での判断を勝手にせず、何事も実習生である自覚をもって報告・連絡・相談を行うこと。

科目名	臨地実習Ⅱ								歯科衛生科
学年	3年	学期	前期	分野	専門	時間数	450時間	単位数	10単位
科目責任者	田頭　美穂				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	歯科衛生士として求められる基本的な資質と能力を常に意識しながら、多様な場、多様な人が対象となる実習に臨む。その中で知識・技術の統合を図り、チーム医療において必要な対人関係能力や倫理観を養うとともに、歯科衛生士としての自己の在り方を省察する能力を身につける。 臨地・臨床実習の学修は、実際に対象者に接しながら指導者の指導・監督の下に実施する。								
到達目標	1.　思いやりを持ち、対象者に応じた患者対応ができる。 2.　既習の知識・技術を、実習指導者の指導の下に実践できる能力を身につける。 3.　健康教育の計画立案ができ、その内容を説明できる。 4.　地域歯科保健活動の工夫と留意点が説明できる。 5.　地域の集団に対して、媒体を用いた歯科保健指導を実践することができる。 6.　多職種連携における歯科衛生士の役割と、地域歯科保健活動が理解できる。								

	実習場所	授業内容	形態	担当教員
	歯科診療所	実　習　期　間：令和7年4月2日～7月28日（51日間） 実　習　時　間：8:00～17:00（実習時間8時間） 実　　習　　先：歯科診療所、幼稚園・保育園（6日）、介護施設（4日） 実　習　方　法：・学生2～3名を1組とし、学外実習を行う。実習先が休診の場合は、学内にて自学学習を行う。 ・幼稚園・保育園での臨地実習では、対象者の発達に応じた歯科衛生計画を作成し、口腔清掃指導や口腔機能発達訓練指導を行う。8～10名を1グループとする。 ・介護施設での臨地実習では、高齢者の身体的・心理的特徴やQOLの維持･向上を目的とした口腔衛生管理や、口腔機能の向上に必要な専門的知識と技術を修得する。3名を1グループとする。 実習の詳細：・歯科診療所での実習後に、臨床実習帳に記載する。記載後は、速やかに実習先の指導者に見てもらい押印してもらう。 ・臨地実習終了後は、事後評価を行い臨地実習帳に記録し押印をもらう。	実習	貴島 田頭 眞武

評価方法

評価指標	外部評価	レポート	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	50	50	－	－	－	－	100

教科書	実習内容、実習先の対象者に応じて必要なもの。 岩田隆紀他　歯科衛生士・歯科助手おしごとハンドブック　第1版　クインテッセンス出版　￥3,300+税 井上孝他　最新歯科衛生士教本　臨床検査　第1版　医歯薬出版　￥2,200＋税
教材・参考図書	適宜紹介する。
オフィスアワー	実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	・歯科診療所、保育、介護施設での実習となるため、自己の健康管理に努めること。 ・既習した全領域の学習が必要なため、自己にて学習を進めること。 ・自己での判断を勝手にせず、何事も実習生である自覚をもって報告・連絡・相談を行うこと。

科目名	臨地実習Ⅱ								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	専門	時間数	90時間	単位数	2単位
科目責任者	田頭　美穂				科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁			
科目概要	歯科衛生士として求められる基本的な資質と能力を常に意識しながら、多様な場、多様な人が対象となる実習に臨む。その中で知識・技術の統合を図り、チーム医療において必要な対人関係能力や倫理観を養うとともに、歯科衛生士としての自己の在り方を省察する能力を身につける。 臨地・臨床実習の学修は、実際に対象者に接しながら指導者の指導・監督の下に実施する。								
到達目標	1.　対象者に応じた口腔健康管理指導ができる。 2.　既習の知識・技術を、歯科衛生過程を用いて実践できる能力を身につける。								

	実習場所	授業内容	形態	担当教員
	歯科診療所	実　習　期　間：令和7年8月19日～令和7年9月12日（12日間） 実　習　時　間：8:00～17:00（実習時間8時間） 実　　習　　先：歯科診療所 実　習　方　法：学生2～3名を1組とし、学外実習を行う。 実習先が休診の場合は、学内にて自学学習を行う。 実習の詳細：歯科診療所での実習後に、臨床実習帳に記載する。 記載後は、速やかに実習先の指導者に見てもらい押印してもらう。	実習	貴島 田頭 眞武

評価方法							
評価指標	外部評価	レポート	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	50	50	－	－	－	－	100

教科書	実習内容、実習先の対象者に応じて必要なもの。 岩田隆紀他　歯科衛生士・歯科助手おしごとハンドブック　第1版　クインテッセンス出版　￥3,300+税 井上孝他　最新歯科衛生士教本　臨床検査　第1版　医歯薬出版　￥2,200＋税
教材・参考図書	適宜紹介する。
オフィスアワー	実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	・歯科診療所での実習となるため、自己の健康管理に努めること。 ・既習した全領域の学習が必要なため、自己にて学習を進めること。 ・自己での判断を勝手にせず、何事も実習生である自覚をもって報告・連絡・相談を行うこと。

科目名	看護学概論								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	選択必修	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	瀬戸山　美和				科目担当者	瀬戸山　美和			
科目概要	看護の基本的考え方（概念）と科学的知識・技術に基づく看護の基本援助技術、チーム連携等、看護の概要について学ぶ。さらに地域・在宅看護における看護について学ぶ。								
到達目標	歯科衛生士が人々の健康を守るために必要な看護の基本的な考え方、および援助技術を理解する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	看護の概念	看護の歴史,看護の定義	講義	瀬戸山
2	看護技術(1)	患者とのコミュニケーション,患者との接し方,	講義	瀬戸山
3	看護技術(2)	バイタルサイン バイタルサインの測定方法 安楽への援助,患者の安全と安楽,体位変換	講義	瀬戸山
4	看護技術(3)	摂食への支援,経腸栄養法,静脈栄養法, 与薬,罨法,吸引および吸入	講義	瀬戸山
5	看護実務(1) 救急時の看護	救急蘇生法,神経性ショック,過換気症候群	講義	瀬戸山
6	看護実務(2) 洗浄・消毒・滅菌 感染対策	洗浄,消毒,滅菌法の種類と特徴 感染対策,個人防護具の着脱	講義	瀬戸山
7	看護実務(3) 医療安全	医療事故報告制度,インシデント,アクシデント, 転倒・転落防止,針刺し事故防止,片手リキャップ法	講義	瀬戸山
8	地域医療活動	地域社会における看護のあり方,在宅医療, 地域包括ケアシステム,在宅医療を支える職種, 訪問看護の内容	講義	瀬戸山

評価方法							
評価指標	試験	レポート	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	50	50	－	－	－	－	100

教科書	柴原 孝彦 他　歯科衛生士のための看護学大意　第3版　医歯薬出版　￥2,400+税
教材・参考図書	茂野 香おる 他 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ第 18 版 医学書院 ￥2,700+税 任　和子 他　系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第 18 版 医学書院 ￥2,900+税 河原 加代子 他 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 第 6 版 医学書院 ￥2,000+税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。

科目名	リハビリテーション概論								歯科衛生科
学年	1年	学期	後期	分野	選択必修	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	坂口　文宏					科目担当者	坂口　文宏		
科目概要	リハビリテーションとは何か、その歴史・理念を踏まえ、医療、福祉、保健との関係について包括的な理解を促す。また、チーム医療に関わる関連職種と歯科衛生士との連携についても触れるとともに、歯科診療において遭遇する機会の多い高齢者・障害者の支援・介助法の基本的な実技を修得する。 リハビリテーションの奥深さに触れ、豊かな人間性と高い倫理観を身につけ、疑義を楽しみ能動的学習の礎を築く。								
到達目標	1. リハビリテーションの歴史・理念と関連する分野との関係を理解する。 2. 歯科衛生士と関わる職種と連携について理解する。 3. 障害に応じた支援・介助法を理解・実践できる。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	リハビリテーションの理念	リハビリテーションの歴史的背景・理念について	講義	坂口
2	チーム医療と多職種連携	各種コメディカル領域の職種について	講義	坂口
3	障害と評価	運動器・中枢疾患の障害像について	講義	坂口
4	基本動作	寝返り・起坐・起立動作の理解	実技	坂口
5	補装具の適応と使用方法	杖の適応と歩行介助、段差昇降の原則について	実技	坂口
6	車椅子	各部名称と注意点、操作・介助方法について	実技	坂口
7	移乗動作	移乗動作の介助法について	実技	坂口
8	高齢者のリハビリテーション	高齢者の特性と廃用症候群、フレイルについて	講義	坂口

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	－	－	100	－	－	－	100

教科書	未 定
教材・参考図書	必要に応じて適宜プリントを配布する。
オフィスアワー	各講義の前後を活用すること
履修上の注意点	講義では多くの事例・症例をとおして、問題提起・課題解決を試みるため、学生には能動的かつ積極的な参加を期待する。

科目名	画像情報学概論								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	選択必修	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	市原　隆洋				科目担当者	市原　隆洋			
科目概要	2年次に履修した歯科放射線学の個々の詳細について学び、応用力を養う。また、国家試験で過去に出題された問題を中心に演習し、国家資格を有するのに必要な知識を身に付ける。								
到達目標	1. 放射線の人体への影響と防護を理解する。 2. アナログおよびデジタル画像システムの画像形成と画像管理について理解する。 3. エックス線撮影の特徴および検査方法について理解する。 4. エックス線撮影以外の画像検査や放射線治療について原理や特徴を理解する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	放射線の基礎知識1	放射線とその性質	演習	市原
2	エックス線画像の形成	アナログ・デジタル画像システム、画像管理	演習	市原
3	エックス線撮影1	口内法エックス線撮影	演習	市原
4	エックス線撮影2	パノラマエックス線撮影	演習	市原
5	エックス線撮影3	頭部エックス線規格写真	演習	市原
6	エックス線撮影4	CT、造影検査	演習	市原
7	その他の検査等	MRI、超音波検査、放射線治療	演習	市原
8	放射線防護	放射線の影響、防護の実際、被曝線量の測定	演習	市原

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	飯久保 正弘 他 歯科衛生士テキスト わかりやすい歯科放射線学　第３版　¥2,600+税
教材・参考図書	歯科衛生士国試対策研究会編　歯科衛生士国試対策集　第 1～34 回全重要問題解説集　2026 年対応　第１版　ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版　￥3,700+税 歯科衛生士国試問題研究会編　徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集　2025 年版（問題編・別冊付）第１版　医歯薬出版　¥3,700+税
オフィスアワー	平日 16：30 以降
履修上の注意点	単元ごとに過去の国家試験問題より抜粋した問題プリントを用いて授業を行います。 答えの暗記ではなく理解して問題が解けるよう、特に間違えた問題は必ず復習してください。

科目名	デンタルアンチエイジング								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	選択必修	時間数	15時間	単位数	1単位
科目責任者	貴島　聡子					科目担当者	貴島　聡子、田頭　美穂、眞武　郁		
科目概要	歯・口腔領域においては、生涯にわたって自分の歯を維持すること、すなわち歯の喪失防止がアンチエイジング対策の中心となっている。歯の漂白は、輝く笑顔を提供するばかりではなく、歯に対する関心を高め、口腔衛生管理（ホームケア）のモチベーションを高めることにつながる。ホワイトニングの正しい知識を修得し実体験を通して、臨床技能を習得する。								
到達目標	1.　歯の漂白法の種類と適応症を説明できる。 2.　歯の漂白時に準備する器材や薬剤を理解する。 3.　実践的な経験を通して知識をより深め、歯科衛生士の役割を習得する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	デンタルアンチエイジング 歯科審美	デンタルアンチエイジング　歯科審美学の定義 ホワイトニングの基礎知識	講義	貴島
2	ホームホワイトニング１-①	実習手順説明	実習	貴島
3	ホームホワイトニング１-②	ホームホワイトニングカスタムトレー作成実習	実習	貴島
4	ホワイトニング実習１-①	オフィスブリーチ手順説明	実習	貴島
5	ホワイトニング実習１-②	オフィスブリーチ３人１組　（１人目）	実習	貴島
6	ホワイトニング実習２-①	オフィスブリーチ３人１組　（２人目）	実習	貴島
7	ホワイトニング実習２-②	オフィスブリーチ３人１組　（３人目）	実習	貴島
8	ホワイトニング実習まとめ	まとめ、患者指導	実習	貴島

評価方法							
評価指標	レポート	－	－	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	金子 潤　他　歯科衛生士ベーシックスタンダード　ホワイトニング　医歯薬出版　￥3,200＋税
教材・参考図書	日本歯科審美学会監修　コーディネーターのためのホワイトニングマニュアル　財団法人口腔保健協会　￥2,700＋税
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 事後学修は、教科書の該当箇所を精読する。
担当教員の実務経験	歯科クリニックに5年以上従事し、歯科保健指導に関する確かな知識と技能を有する歯科医師を講師とし実践的教育を行う。

科目名	歯科衛生学テーマ別講義(1)								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	選択必修	時間数	90時間	単位数	3単位
科目責任者	貴島　聡子				科目担当者	各科目担当教員			
科目概要	既習した科目・分野の復習を行い自身の理解できていない内容を把握することにより、国家試験対策に活用する。また、既習した専門的知識や技術を集約し、歯科衛生士の役割や歯科衛生業務に対する理解を深める。								
到達目標	1. 人体の構造やそれを構成する器官の構造と機能、組織・発生に関する基本的知識を修得する。 2. 歯・口腔の構造およびその機能に関する基本的知識を修得する。 3. 口腔における物質の代謝と機能に関する基本的知識を修得する。 4. 口腔領域に発生する疾病の概念、病因と病態に関する基本的知識を修得する。 5. 微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態と生体の防御機構としての免疫に関する基本的知識を修得する。 6. 疾病の回復を促進する薬に関する基本的知識を修得する。 7. 歯・口腔の健康と予防に関する基本的知識を修得する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	人体の構造と機能（1）	人体の構造	講義	長門
2	人体の構造と機能（2）	人体の機能・構成成分	講義	長門
3	歯・口腔の構造と機能	歯・口腔の構造	講義	大関
4	歯・口腔の構造と機能	歯・口腔の機能・組成①	講義	加藤
5	歯・口腔の構造と機能	歯・口腔の機能・組成②	講義	加藤
6	歯・口腔の構造と機能	歯・口腔の機能・組成③	講義	田淵
7	疾病の成り立ち及び回復過程の促進（1）	病因と病態①	講義	谷口
8	疾病の成り立ち及び回復過程の促進（2）	病因と病態②	講義	谷口
9	疾病の成り立ち及び回復過程の促進（3）	病因と病態③	講義	谷口
10	疾病の成り立ち及び回復過程の促進（4）	感染と免疫	講義	中山
11	疾病の成り立ち及び回復過程の促進（5）	生体と薬物①	講義	加藤
12	疾病の成り立ち及び回復過程の促進（6）	生体と薬物②	講義	加藤
13	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（1）	総論、口腔清掃	講義	本川
14	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（2）	総論、口腔清掃	講義	本川
15	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（3）	う蝕の予防	講義	本川

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	前田 健康 他　歯科衛生学シリーズ　人体の構造と機能１　解剖学・組織発生学・生理学　第１版　医歯薬出版 ￥4,600+税 前田 健康 他　歯科衛生学シリーズ　歯・口腔の構造と機能　口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学　第１版　医歯薬出版　￥4,800+税

	高橋 信博 他 最新歯科衛生士教本　人体の構造と機能２　栄養と代謝 第１版 医歯薬出版 ￥3,500+税 仙波 伊知郎 他 最新歯科衛生士教本　疾病の成り立ち及び回復過程の促進１　病理学・口腔病理学 第１版 医歯薬出版 ￥3,800+税 鈴木 邦明 他 歯科衛生士教本　疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3　薬理学　第 2 版　医歯薬出版 ￥3,200+税 木村 重信 他 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進２　微生物学　第１版　医歯薬出版 ￥3,000+税 荒川 浩久 他 歯科衛生士テキスト　口腔衛生学　-口腔保健統計を含む-　第４版　学建書院　￥3,000+税 可児 徳子 他 新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み１　保健生態学 第 3 版 医歯薬出版 ￥5,600+税 歯科衛生士国試対策研究会　歯科衛生士　国試対策集　2026 年対応　第１版 ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版　￥3,700+税 歯科衛生士国試問題研究会　徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集　2024 年版　第 1 版　医歯薬出版　￥3,700+税
教材・参考図書	適宜紹介する。
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科衛生学テーマ別講義(2)								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	選択必修	時間数	90時間	単位数	3単位
科目責任者	田頭　美穂				科目担当者	各科目担当教員			
科目概要	既習した科目・分野の復習を行い自身の理解できていない内容を把握することにより、国家試験対策に活用する。また、既習した専門的知識や技術を集約し、歯科衛生士の役割や歯科衛生業務に対する理解を深める。								
到達目標	1. 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みに関する基本的知識を修得する。 2. 地域社会における保健対策の基本を学び、対象者の疾病の予防能力を高めるために、地域の役割に関する基本的知識を修得する。 3. 歯科衛生士に必要な法律・制度に関する基本的知識や、歯・口腔の健康と予防プログラムを構築するための保健情報を把握し、衛生統計の手法を修得する。 4. 歯科衛生業務を実践するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を修得する態度および倫理的思考法の基礎を修得する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（4）	指数 地域歯科保健活動	講義	本川
2	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（5）	歯科疾患の疫学と歯科保健統計	講義	本川
3	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（6）	環境・社会と健康①	講義	藤代
4	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（7）	環境・社会と健康②	講義	藤代
5	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（8）	環境・社会と健康③	講義	藤代
6	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（9）	保健・医療・福祉の制度①	講義	藤代
7	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み（10）	保健・医療・福祉の制度②	講義	藤代
8	歯科衛生士概論	歯科衛生士とその業務	講義	貴島
9	臨床歯科医学（1）	保存修復学	講義	本川
10	臨床歯科医学（2）	歯内療法学	講義	本川
11	臨床歯科医学（3）	歯周病学	講義	谷口
12	臨床歯科医学（4）	歯科補綴学	講義	本川
13	臨床歯科医学（5）	口腔外科・歯科麻酔学①	講義	大関
14	臨床歯科医学（6）	口腔外科・歯科麻酔学②	講義	大関
15	臨床歯科医学（7）	小児歯科学	講義	本川

評価方法

評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	可児 徳子 他 新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み１　保健生態学 第3版 医歯薬出版 ￥5,600+税 石井 拓男 他　最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2　歯科衛生士と

	法律・制度　第３版　医歯薬出版 ￥2,800+税 眞木 吉信 他 最新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み３　保健情報統計学 第１版 医歯薬出版 ￥2,800+税 遠藤 恵子 他 最新歯科衛生士教本　歯科衛生学総論 第１版 医歯薬出版 ￥2,700+税 千田 彰　他　最新歯科衛生士教本　歯の硬組織・歯髄疾患　保存修復・歯内療法　第 1 版　医歯薬出版 ￥4,200+税 申 基喆 他 最新歯科衛生士教本　歯周病学 第２版　医歯薬出版 ￥3,500+税 赤川　安正 他 最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常１　歯科補綴 第２版　医歯薬出版 ￥3,400+税 山根 源之 他　最新歯科衛生士教本　顎・口腔粘膜疾患　口腔外科・歯科麻酔 第１版 医歯薬出版 ￥3,400+税 氷室 利彦 他　最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常２　歯科矯正　第１版 医歯薬出版 ￥3,000+税 大嶋 隆 他 最新歯科衛生士教本　小児歯科 第２版　医歯薬出版 ￥3,400+税 森戸 光彦 他 歯科衛生士講座　高齢者歯科学　第３版　永末書店 ￥3,500+税 柿木 保明 他 歯科衛生士講座　障害者歯科学 第３版 永末書店 ￥3,000+税 歯科衛生士国試対策研究会　歯科衛生士　国試対策集　2026 年対応　第１版 ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版　￥3,700+税 歯科衛生士国試問題研究会　徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集　2024 年版　第 1 版　医歯薬出版　￥3,700+税
教材・参考図書	井上 孝 他　最新歯科衛生士教本　臨床検査　第１版　医歯薬出版　￥2,200+税
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。

科目名	歯科衛生学テーマ別講義（3）								歯科衛生科
学年	3年	学期	後期	分野	選択必修	時間数	90時間	単位数	3単位
科目責任者	眞武　郁					科目担当者	各科目担当教員		
科目概要	既習した科目・分野の復習を行い自身の理解できていない内容を把握することにより、国家試験対策に活用する。また、既習した専門的知識や技術を集約し、歯科衛生士の役割や歯科衛生業務に対する理解を深める。								
到達目標	1. 口腔疾患を予防し、歯・口腔の健康を維持・増進させるために、専門的な知識・技術および態度を修得する。 2. 健康と疾病の概念を理解し、歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識・技術および態度を修得する。 3. さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基本的な知識・技術および態度を修得する。								

回数	単元項目	授業内容	形態	担当教員
1	臨床歯科医学（8）	矯正歯科学	講義	本川
2	臨床歯科医学（9）	歯科放射線学	講義	市原
3	臨床歯科医学（10）	高齢者歯科学	講義	大関
4	臨床歯科医学（11）	障害者歯科学	講義	大関
5	臨床歯科医学（12）	栄養指導	講義	谷口
6	臨床歯科医学（13）	歯科材料	講義	田淵
7	歯科予防処置論（1）	歯科予防処置論①	講義	眞武
8	歯科予防処置論（2）	歯科予防処置論②	講義	眞武
9	歯科予防処置論（3）	歯科予防処置論③	講義	眞武
10	歯科保健指導論（1）	歯科保健指導論①	講義	貴島
11	歯科保健指導論（2）	歯科保健指導論②	講義	貴島
12	歯科保健指導論（3）	歯科保健指導論③	講義	貴島
13	歯科診療補助論（1）	歯科診療補助論①	講義	田頭
14	歯科診療補助論（2）	歯科診療補助論②	講義	田頭
15	歯科診療補助論（3）	歯科診療補助論③	講義	田頭

評価方法							
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	－	－	－	合計
評価割合(%)	100	－	－	－	－	－	100

教科書	
	高阪 利美 他　最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版　医歯薬出版　￥8,200+税 可児 徳子 他　新歯科衛生士教本　歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み１　保健生態学　第3版　医歯薬出版　￥5,600+税 高橋 信博 他 最新歯科衛生士教本　人体の構造と機能２　栄養と代謝 第1版　医歯薬出版　￥3,500+税 合場 千佳子 他　最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第1版 医歯薬出版 ￥6,000+税 末瀬 一彦 他　最新歯科衛生士教本　歯科材料　第1版 医歯薬出版 ￥3,500+税 千田 彰　他　最新歯科衛生士教本　歯の硬組織・歯髄疾患　保存修復・歯内療法　第 1 版　医歯薬出版 ￥4,200+税

	申 基喆 他 最新歯科衛生士教本　歯周病学 第２版　医歯薬出版 ￥3,500+税 赤川 安正 他 最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常１　歯科補綴 第２版　医歯薬出版 ￥3,400+税 山根 源之 他　最新歯科衛生士教本　顎・口腔粘膜疾患　口腔外科・歯科麻酔 第１版 医歯薬出版 ￥3,400+税 氷室 利彦 他　最新歯科衛生士教本　咀嚼障害・咬合異常２　歯科矯正　第１版 医歯薬出版 ￥3,000+税 大嶋 隆 他 最新歯科衛生士教本　小児歯科 第２版　医歯薬出版 ￥3,400+税 森戸 光彦 他 歯科衛生士講座　高齢者歯科学　第３版　永末書店 ￥3,500+税 飯久保 正弘他　歯科衛生士テキスト　わかりやすい歯科放射線学　第３版　学健書院　￥2,600+税 植田 耕一郎 他 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第２版　医歯薬出版 ￥3,800+税 歯科衛生士国試対策研究会　歯科衛生士　国試対策集　2026 年対応　第１版 ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版　￥3,700+税 歯科衛生士国試問題研究会　徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集　2024 年版　第 1 版　医歯薬出版　￥3,700+税
教材・参考図書	適宜紹介する。
オフィスアワー	講義・実習時に適宜確認すること。
履修上の注意点	講義、実習の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び内容を変更することがある。 事後学修は、自宅にて教科書の該当箇所を精読する。